

第30回三重県新型コロナウイルス感染症対策本部 本部員会議  
事 項 書

令和3年3月24日（水）

10時05分～10時25分

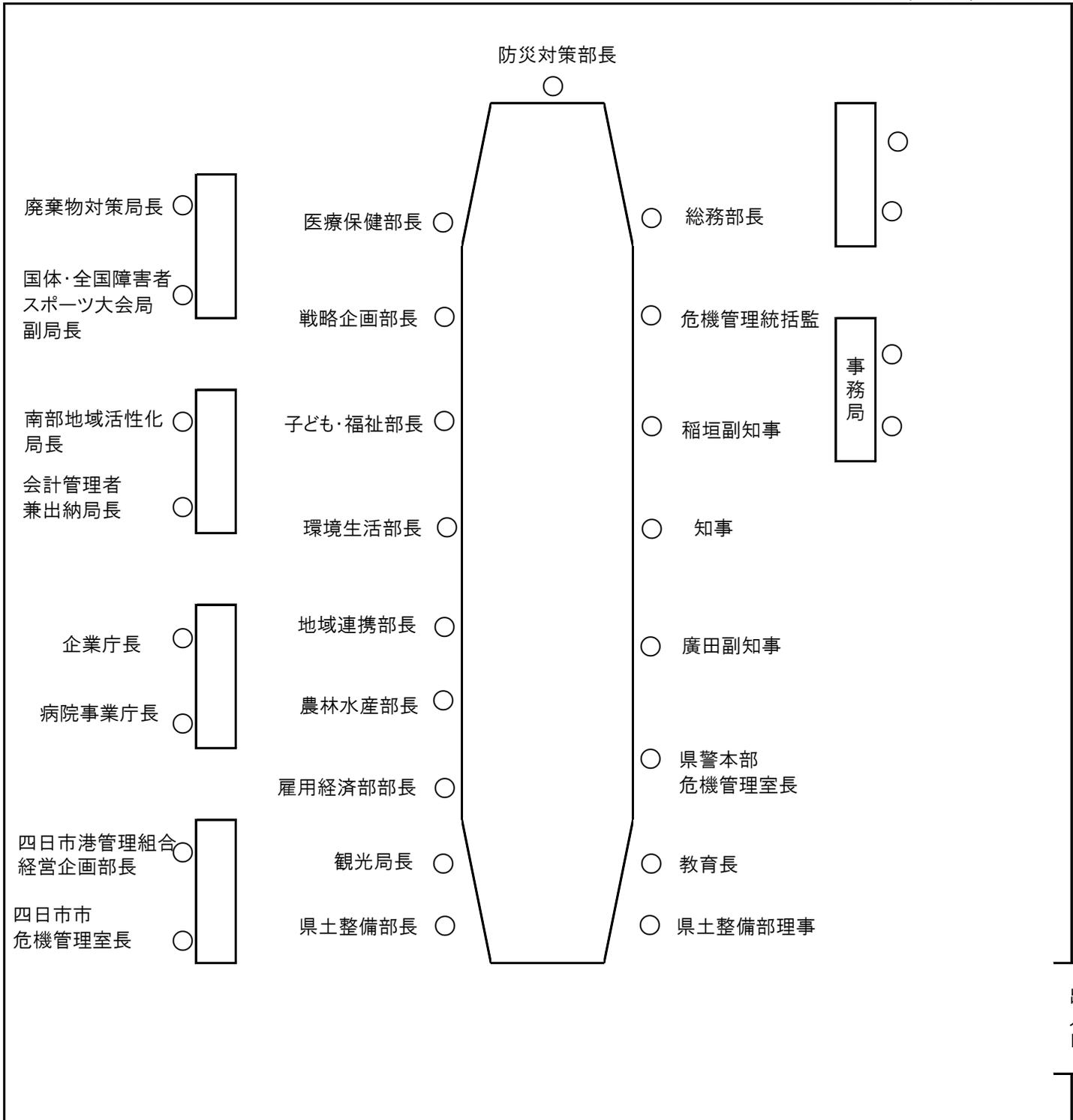
3階 プレゼンテーションルーム

- 1 新型コロナウイルス感染症の県内発生状況等について
- 2 新型コロナウイルス感染症県内第3波について
- 3 新型コロナウイルス感染症対策本部体制について
- 4 各部からの報告事項
- 5 知事指示事項

（会議終了後）県民への呼びかけ

第30回三重県新型コロナウイルス感染症対策本部本部員会議(3月24日)座席表

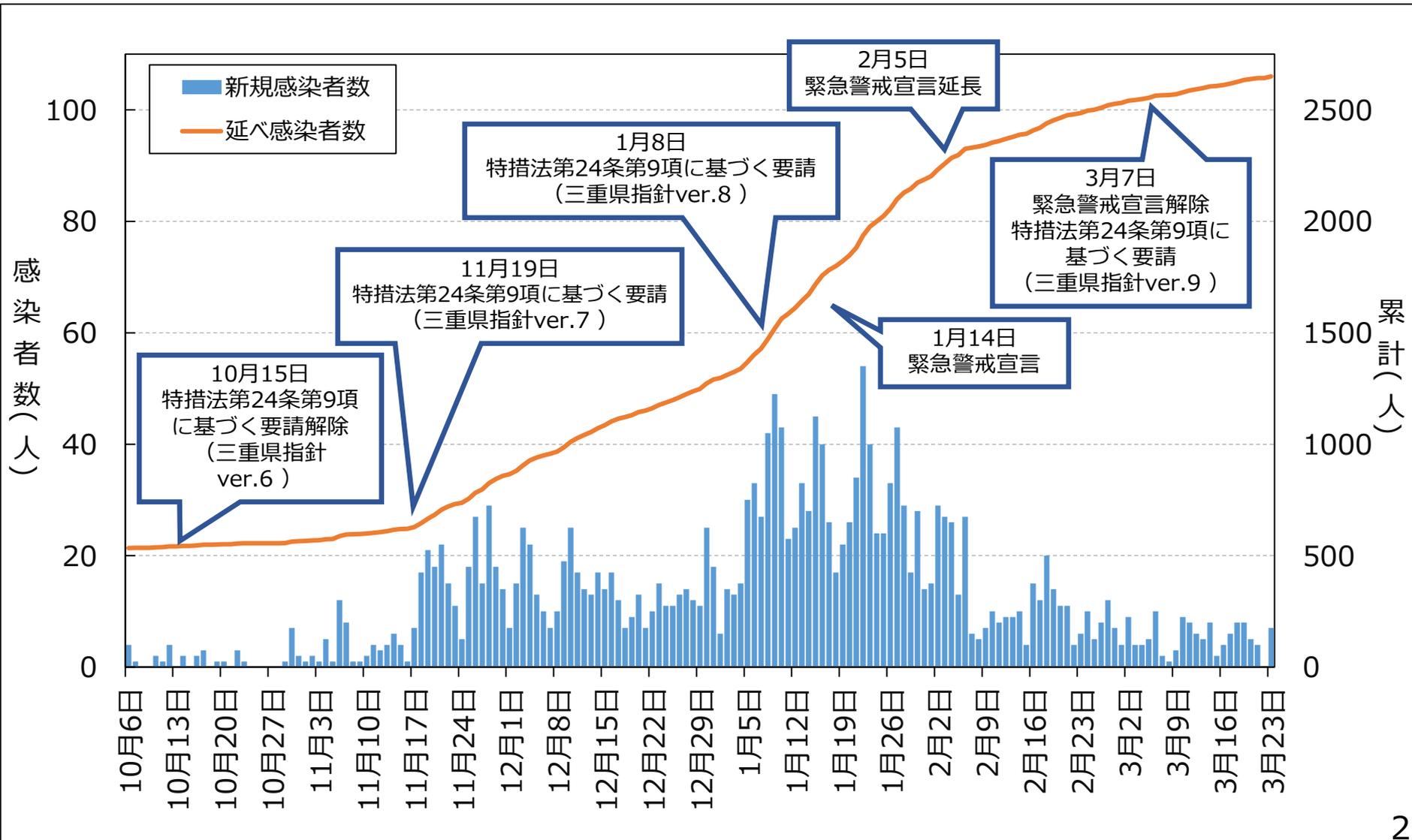
プレゼンテーションルーム



# 新型コロナウイルス感染症の 県内発生状況等について

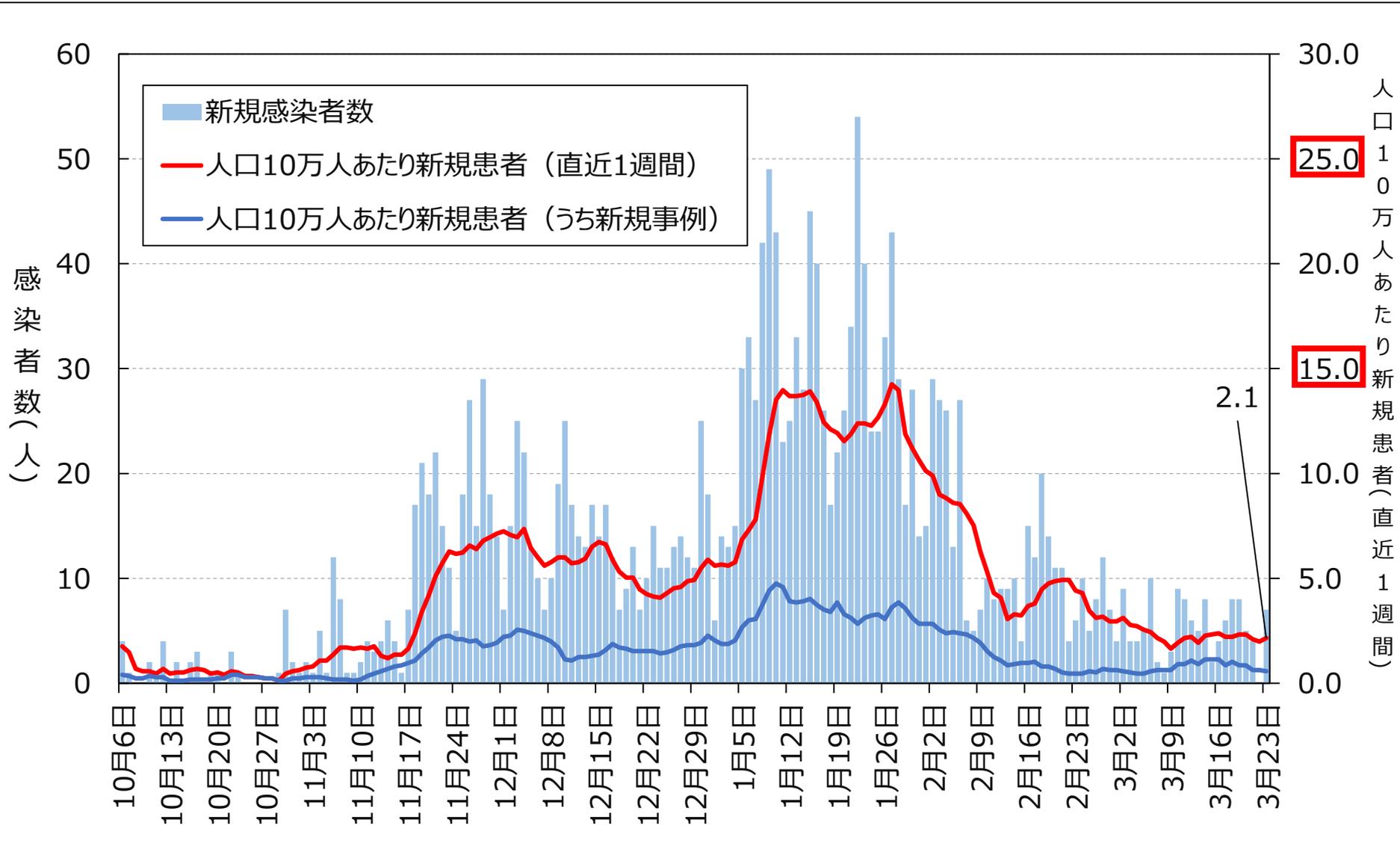
# 県内患者発生状況 (n=2650, R3.3.23時点)

- ◆ 2月中旬以降新規感染者は減少傾向、3月7日に緊急警戒宣言を解除
- ◆ 3月22日に新規感染者0人 (10月28日以来 145日ぶり)



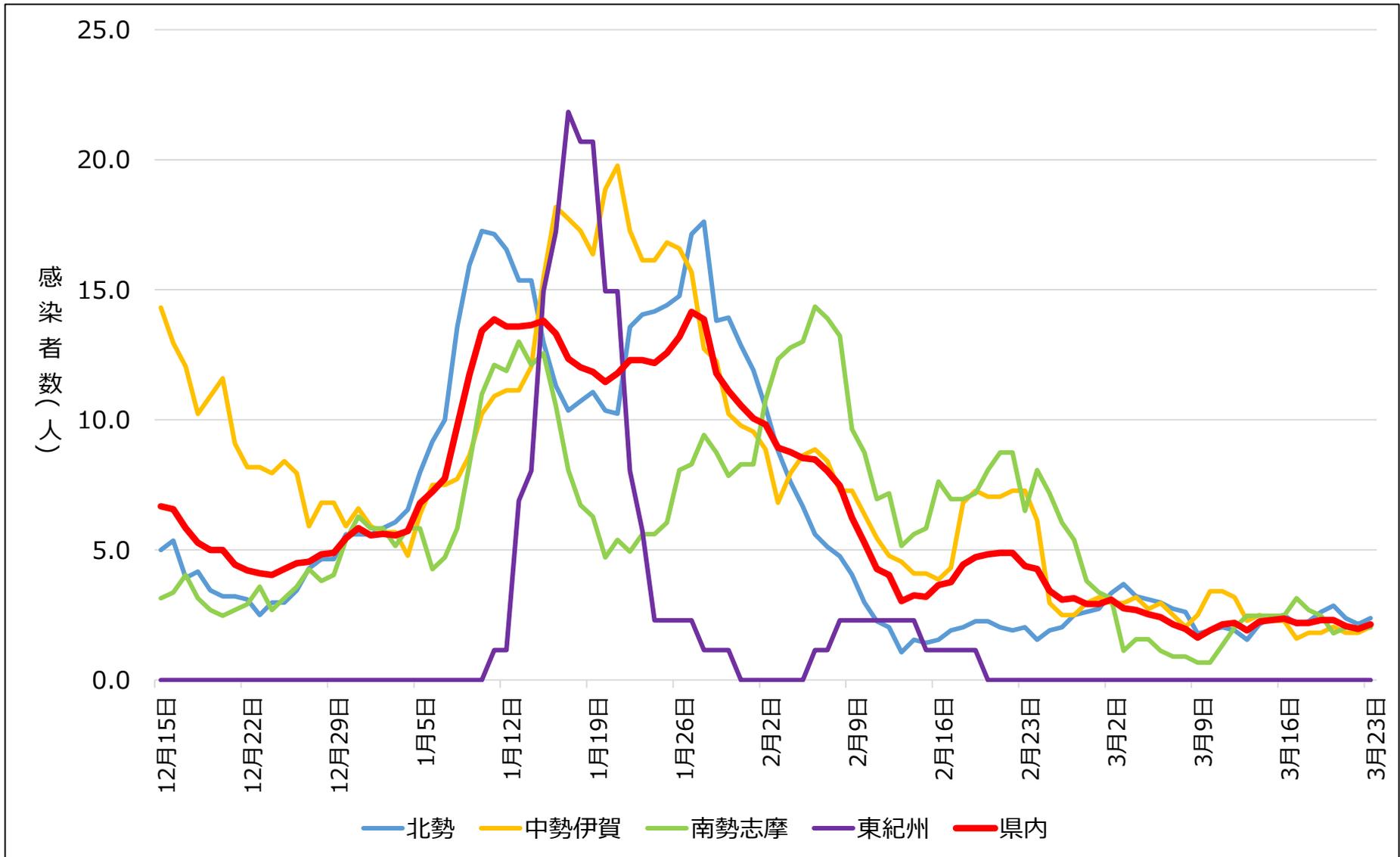
# 県内患者発生状況 (n=2650, R3.3.23時点)

◆人口10万人あたり患者数 (直近1週間) は3月中旬以降横ばいで推移



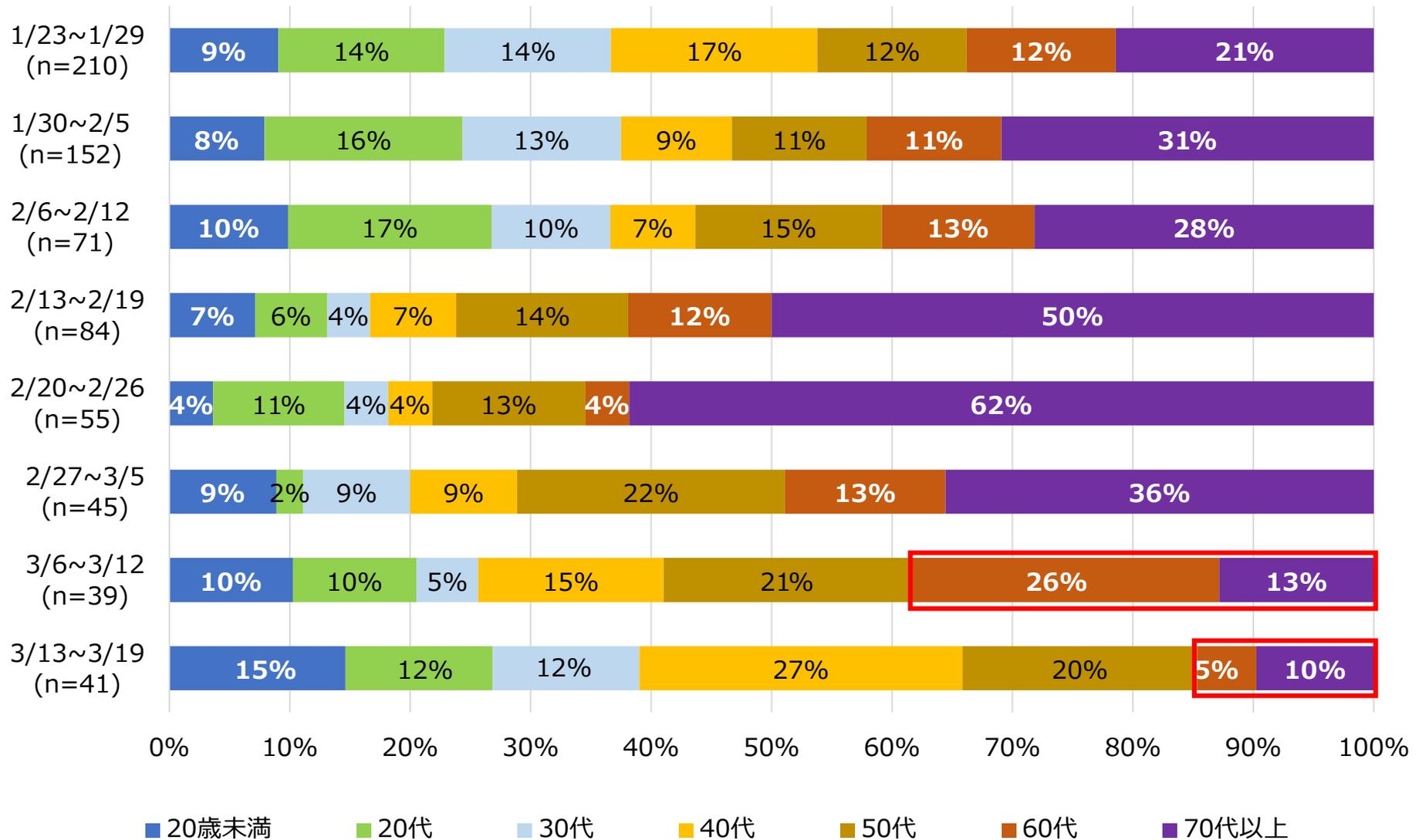
# 医療圏別患者発生状況（R3.3.23時点）

人口10万人当たりの新規患者数（直近1週間）



# 年齢別発生状況 (週別内訳)

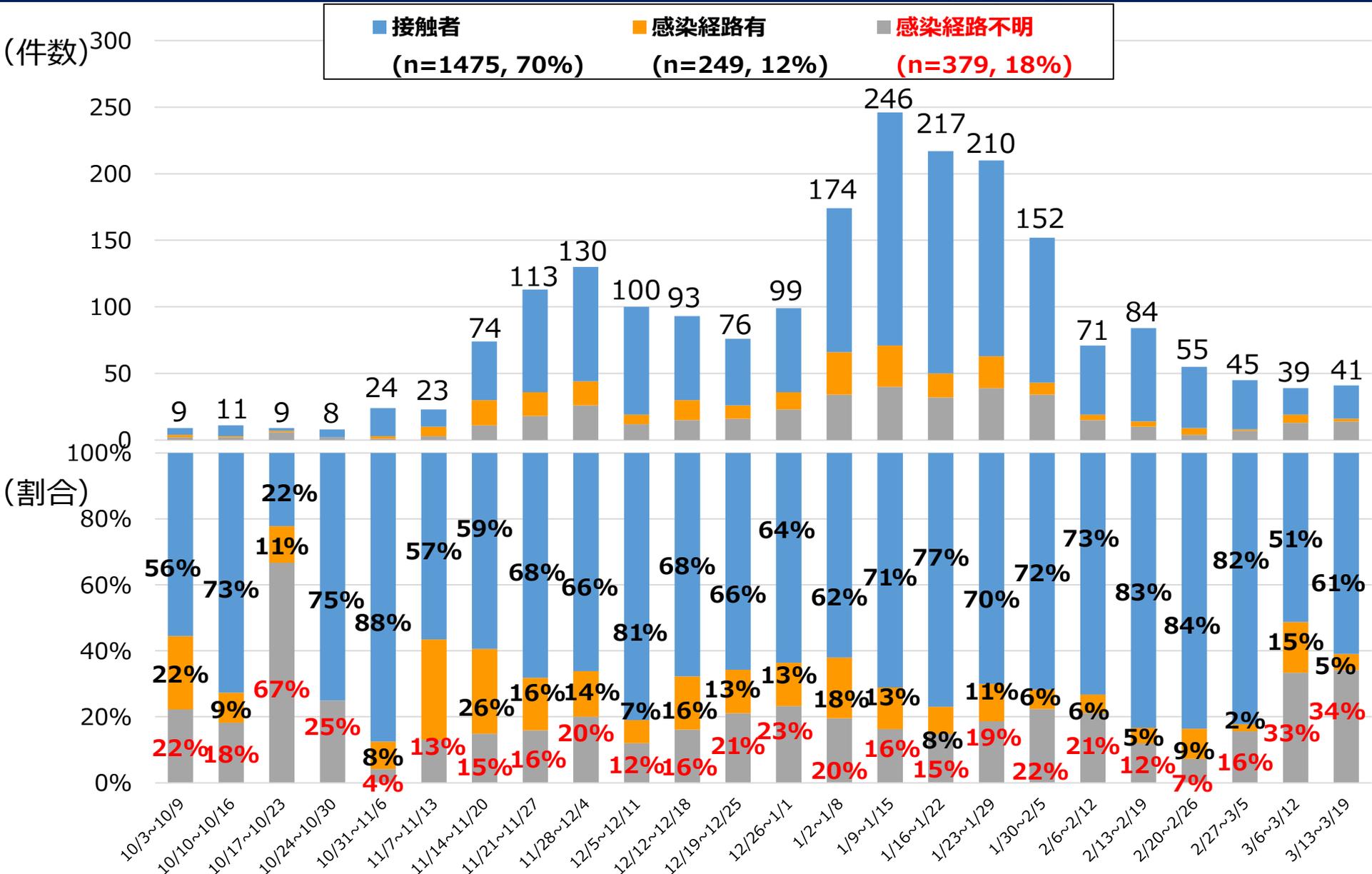
集計期間：1/23~3/19(n=697)



※ 再陽性事例を除く

# 感染経路等に関する状況 (週別内訳) 集計期間：10/3~3/19(n=2103)

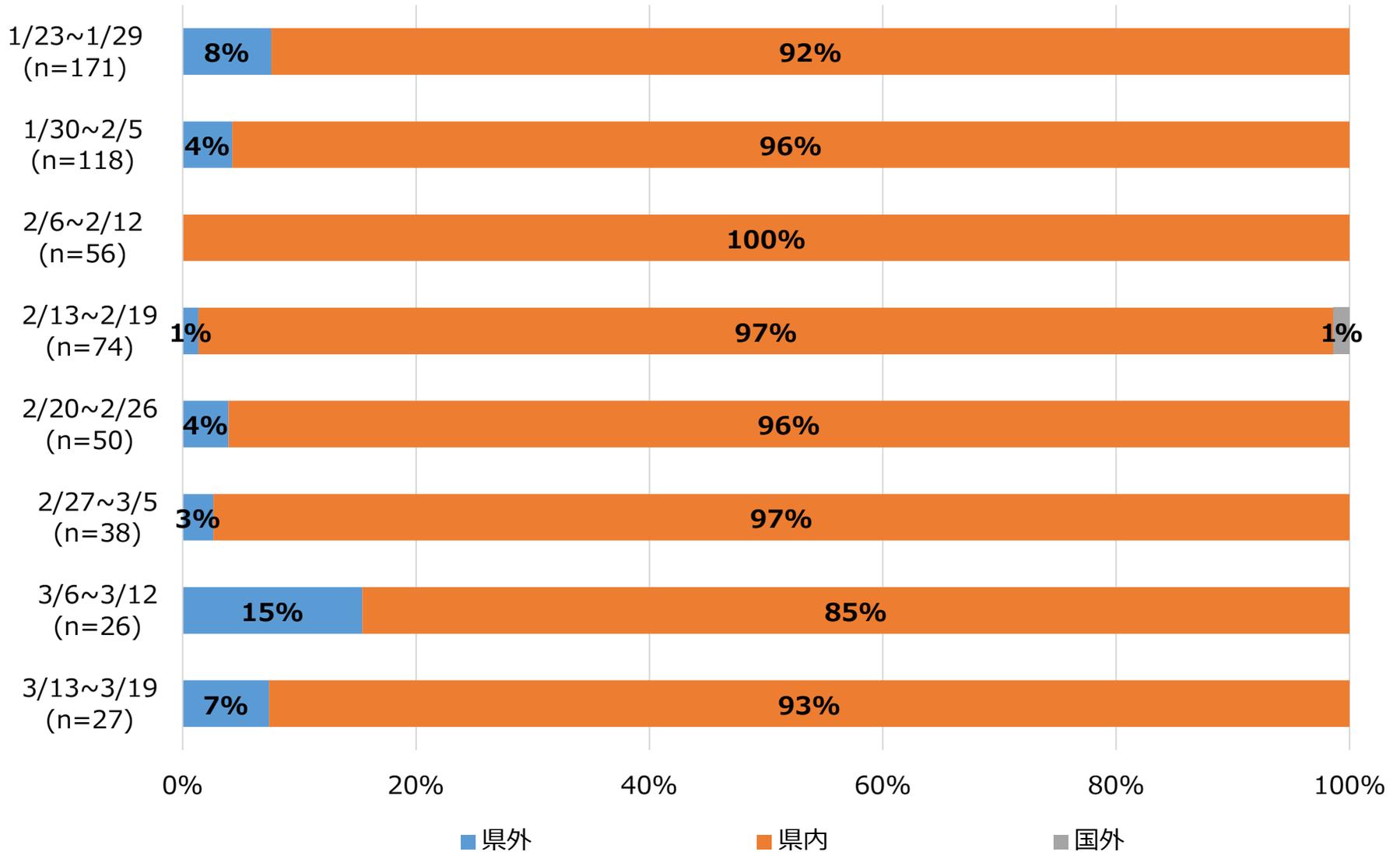
※直近24週



# 感染経路の詳細（経路不明を除く）

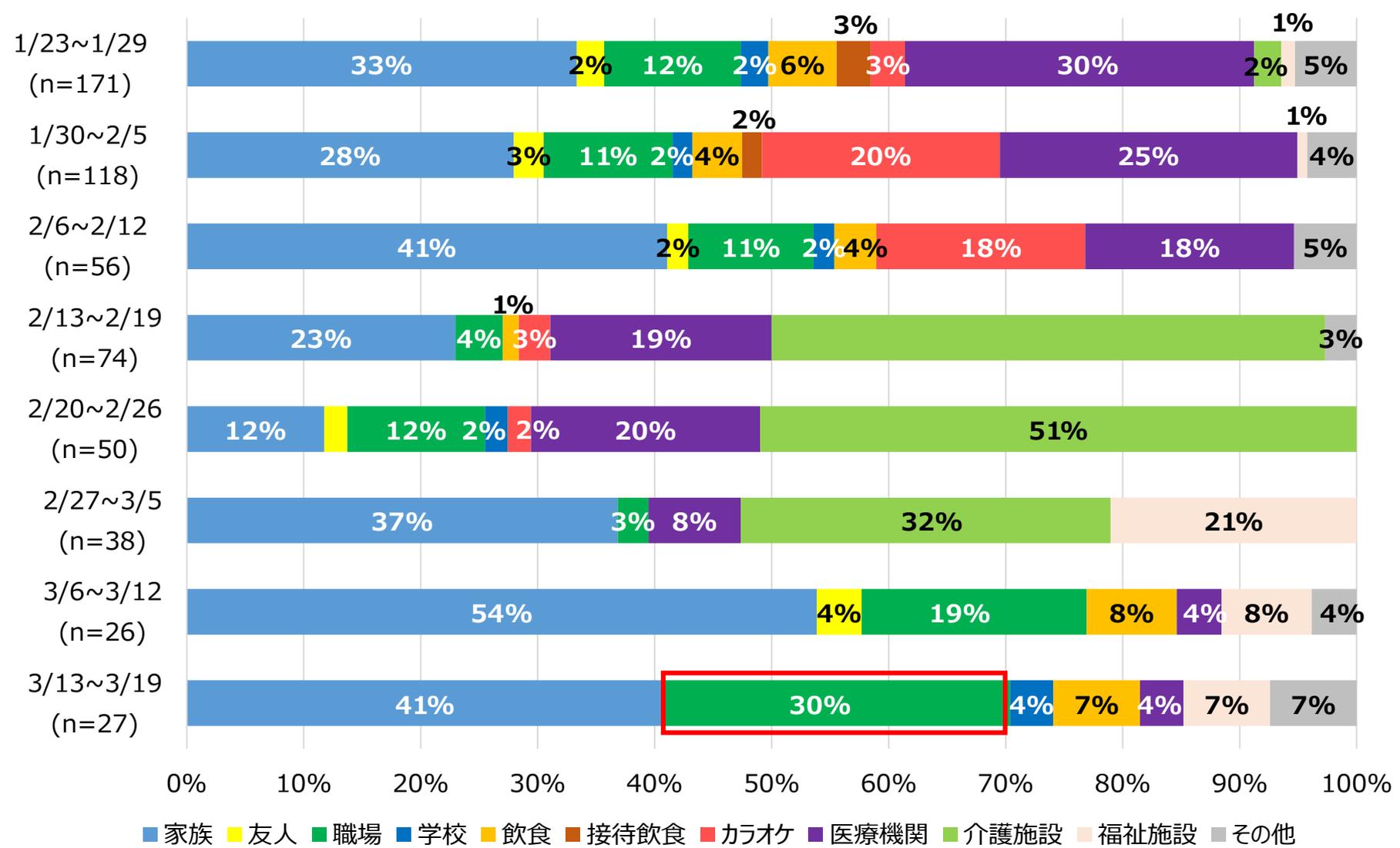
集計期間：1/23~3/19(n=560)

(県内外別)



# 感染経路の詳細 (経路不明を除く) 集計期間：1/23~3/19(n=560)

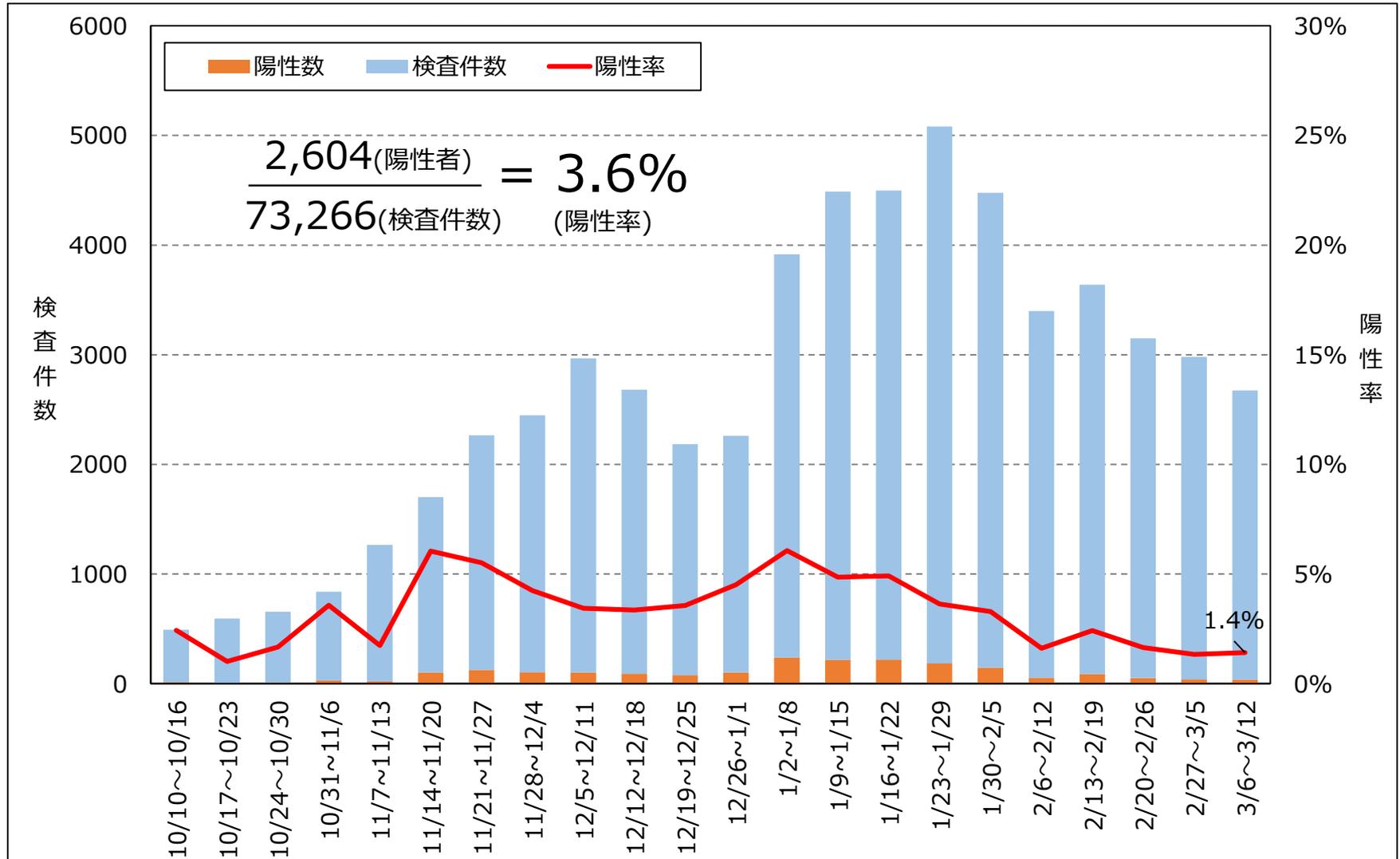
(経路別)



# PCR等検査件数・陽性率（R3.3.12時点）

◆ 2月中旬以降検査件数は減少傾向

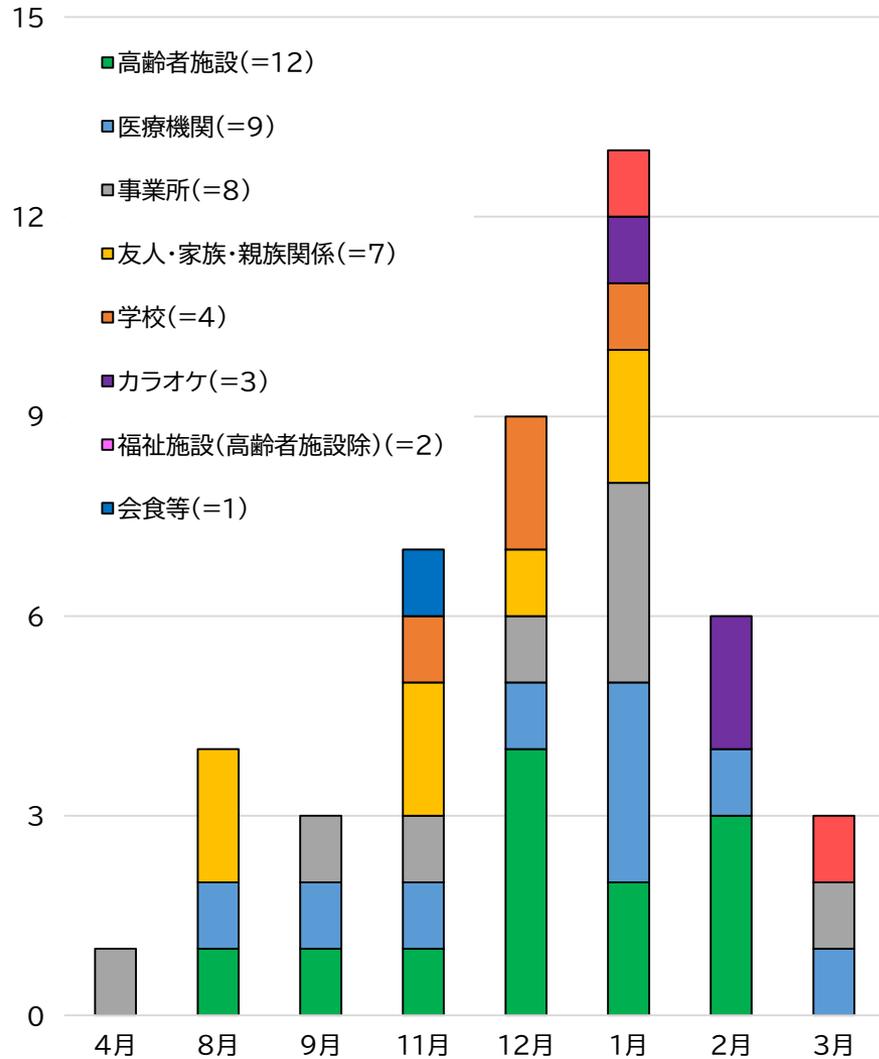
◆ 直近週（3/6～3/12）では2,674件の検査を実施、陽性率は1.4%



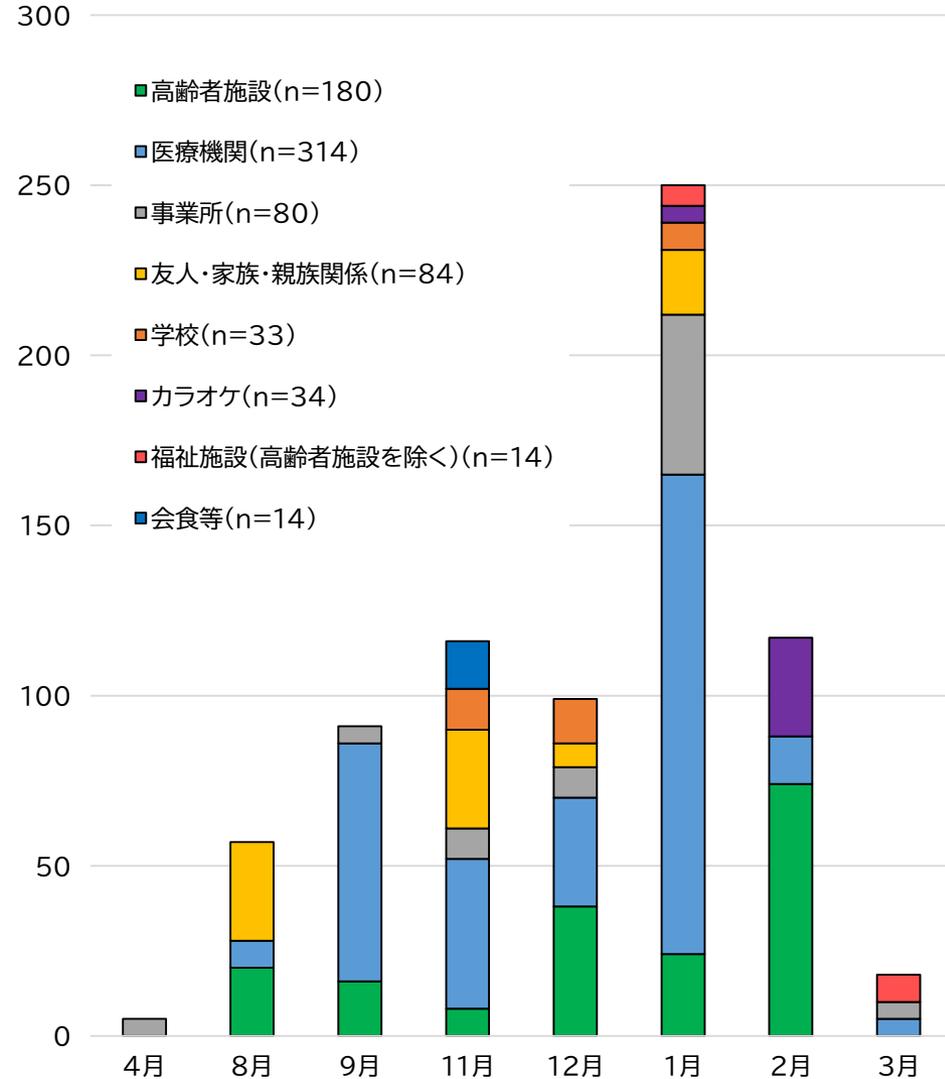
※陽性率を算出するための陽性者数及び検査件数は検査日ベースで集計しているため、公表日ベースの陽性者数とは一致しない

# クラスター発生状況 (R3.3.23時点)

## 発生件数 (46件)



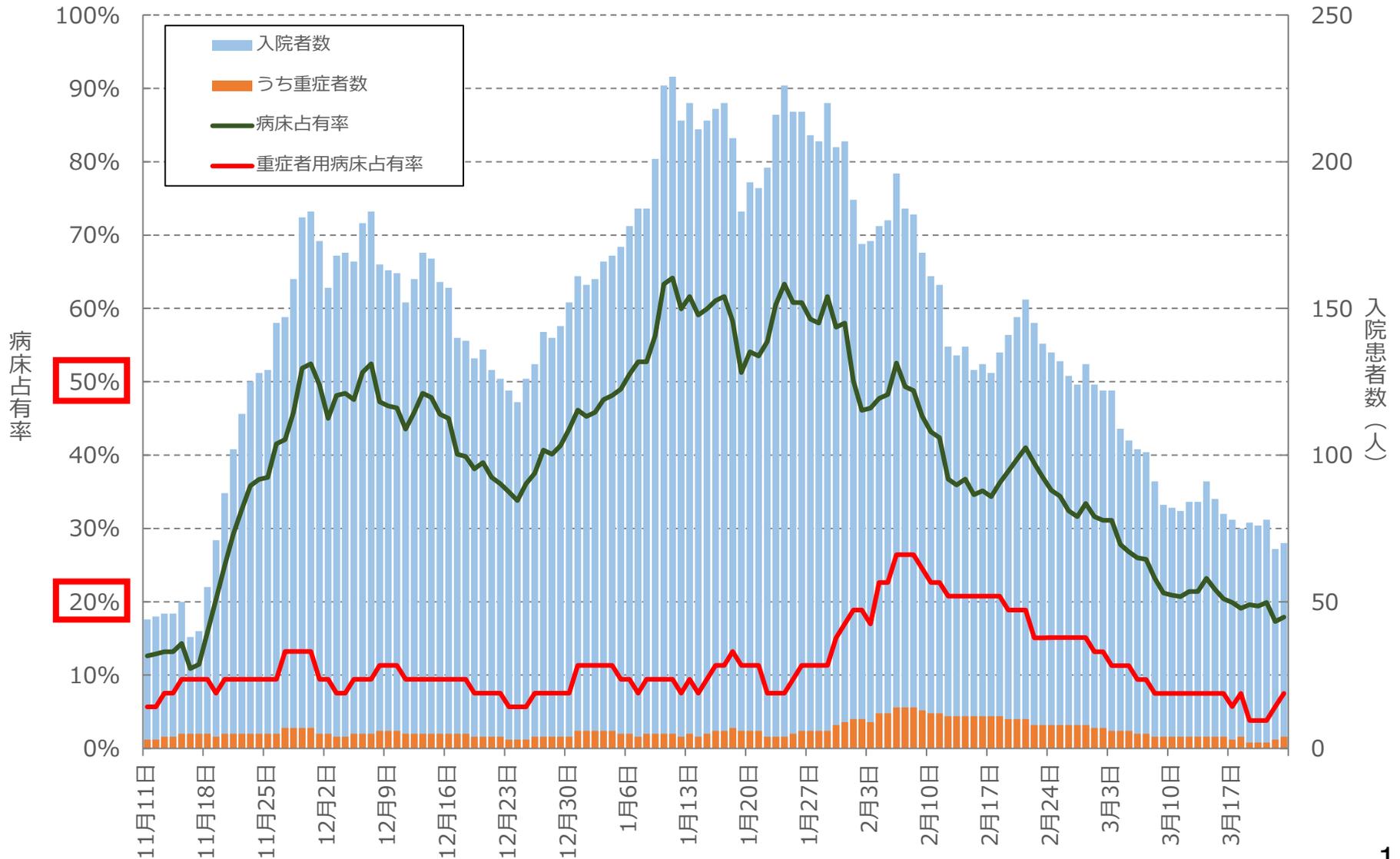
## 陽性者数 (753人)



# 入院等の状況（R3.3.23時点）

◆ 入院患者数、重症者数とも減少傾向

◆ 3月17日以降 病床占有率は20%以下（11月18日以来 119日ぶり）



# 政府指標の状況

## 今後の感染状況の変化に対応した対策の実施に関する指標及び目安

(政府新型コロナウイルス感染症分科会)

|                        | 医療提供体制等の負荷 |                       |                           | 監視体制               | 感染の状況                           |                |                     |
|------------------------|------------|-----------------------|---------------------------|--------------------|---------------------------------|----------------|---------------------|
|                        | ①病床のひっ迫具合  |                       | ②療養者数<br>※人口10万人あたりの全療養者数 | ③検査陽性率             | ④新規報告数<br>※直近一週間の人口10万人あたりの陽性者数 | ⑤直近一週間と先週一週の比較 | ⑥感染経路不明割合           |
|                        | 最大確保病床占有率  | 最大確保病床占有率<br>(うち重症者用) |                           |                    |                                 |                |                     |
| ステージⅢの指標               | 20%        | 20%                   | 15人                       | 10%                | 15人                             | 1.00倍          | 50%                 |
| ステージⅣの指標               | 50%        | 50%                   | 25人                       | 10%                | 25人                             | 1.00倍          | 50%                 |
| 3/7時点<br>緊急警戒宣言<br>終了時 | 25.8%      | 9.4%                  | 6.04人                     | 1.3%<br>(2/27~3/5) | 2.14人                           | 0.73倍          | 15.6%<br>(2/27~3/5) |



|          |        |        |         |                    |       |         |                     |
|----------|--------|--------|---------|--------------------|-------|---------|---------------------|
| 3/23時点   | 17.9%  | 7.5%   | 3.95人   | 1.5%<br>(3/6~3/12) | 2.14人 | 0.95倍   | 33.3%<br>(3/6~3/12) |
| 3/7時点との差 | ↘ 7.9% | ↘ 1.9% | ↘ 2.09人 | ↗ 0.2%             | ± 0   | ↗ 0.22倍 | ↗ 17.7%             |

ステージⅢ…感染者の急増及び医療提供体制における大きな支障の発生を避けるための対応が必要な段階

ステージⅣ…爆発的な感染拡大及び深刻な医療提供体制の機能不全を避けるための対応が必要な段階

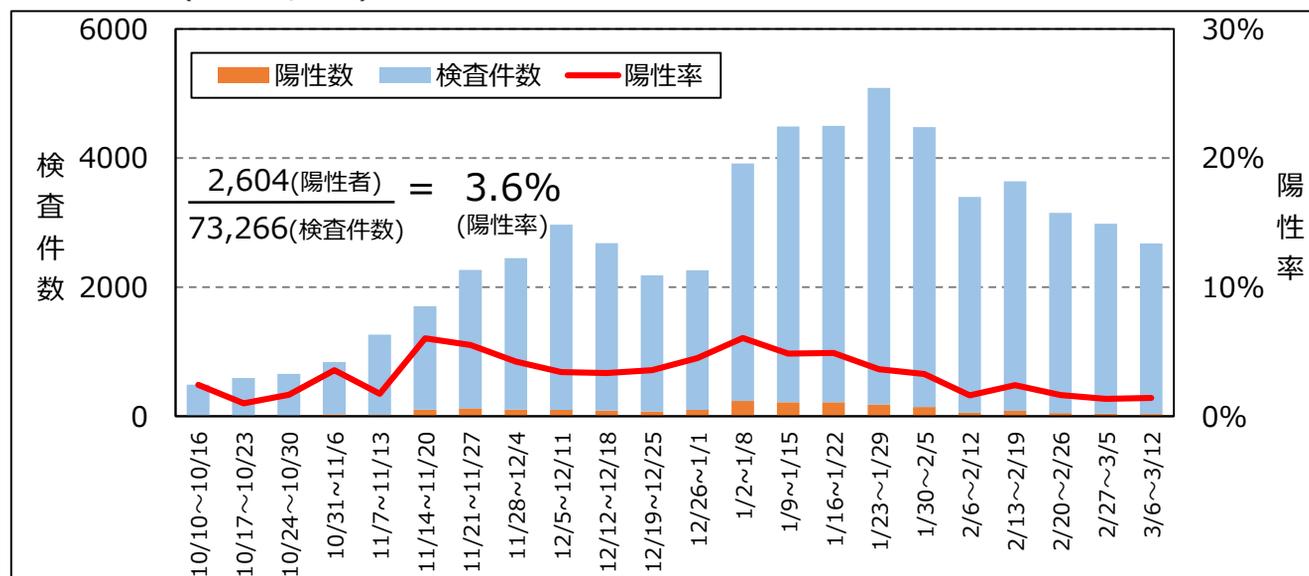
※確保病床占有率は確保病床にかかる入院者数で算出 ※検査陽性率は厚生労働省の認めるすべての検査法を含め算出

# 最近の感染状況等

- ・ 新規感染者数は、2月中旬以降クラスターの発生による一時的な増はあるものの**減少傾向**
- ・ 人口10万人あたりの新規陽性者数（直近1週間）、うち新規事例とも、3月中旬以降は**ほぼ横ばいで推移**
- ・ 医療圏別の発生状況は、**発生数自体は減少**しているものの、東紀州地域を除き**発生が継続**
- ・ 年齢別では、**60歳以上の割合が大幅に減少**
- ・ 感染経路不明は直近週で34%と前週に続き**30%を超えて推移**
- ・ 県内外由来は、**県外由来の感染が直近週では減少**
- ・ 感染経路別では**介護施設などのクラスターによる事例割合が減少**する一方、**職場での感染割合が増加**
- ・ PCR等検査は直近週では2,674件実施し、**陽性率は1.4%**と横ばいで推移
- ・ クラスターは、**直近2週間で2件（事業所、医療機関）発生**
- ・ 入院患者数、重症者数とも**減少傾向**で、3月17日以降は病床占有率も**20%以下で推移**

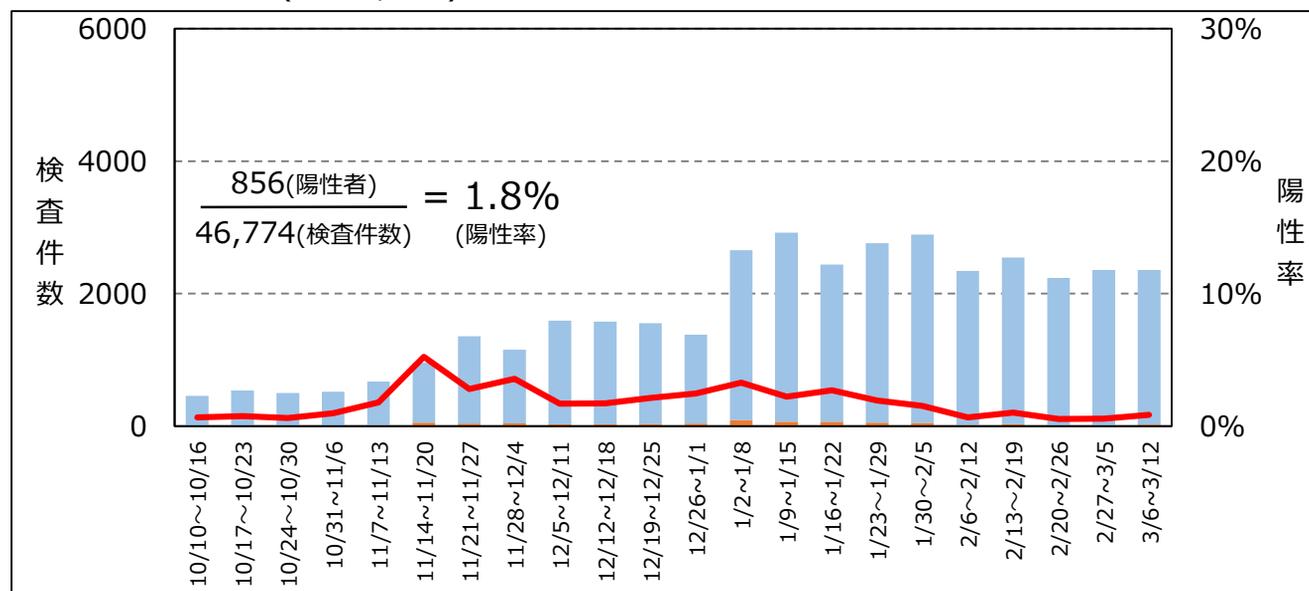
全体陽性率 (n= 73,266)

※陰性確認のための検査を除く



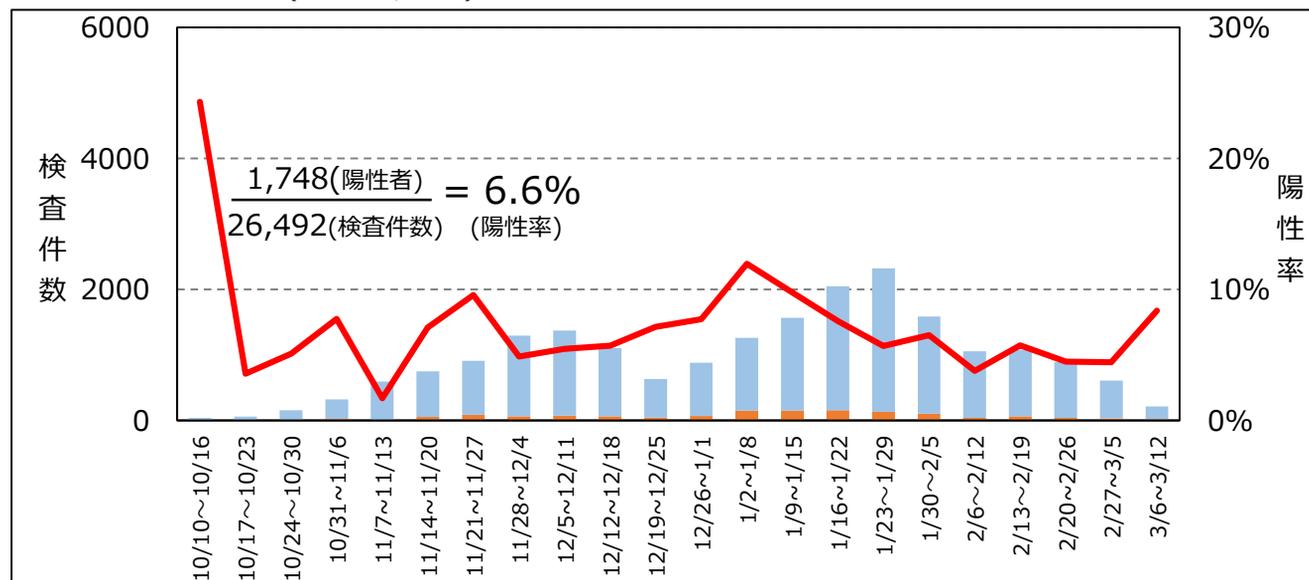
疑い例検査陽性率 (n=46,774)

※疑い例検査…疑い例として診断され、実施した検査



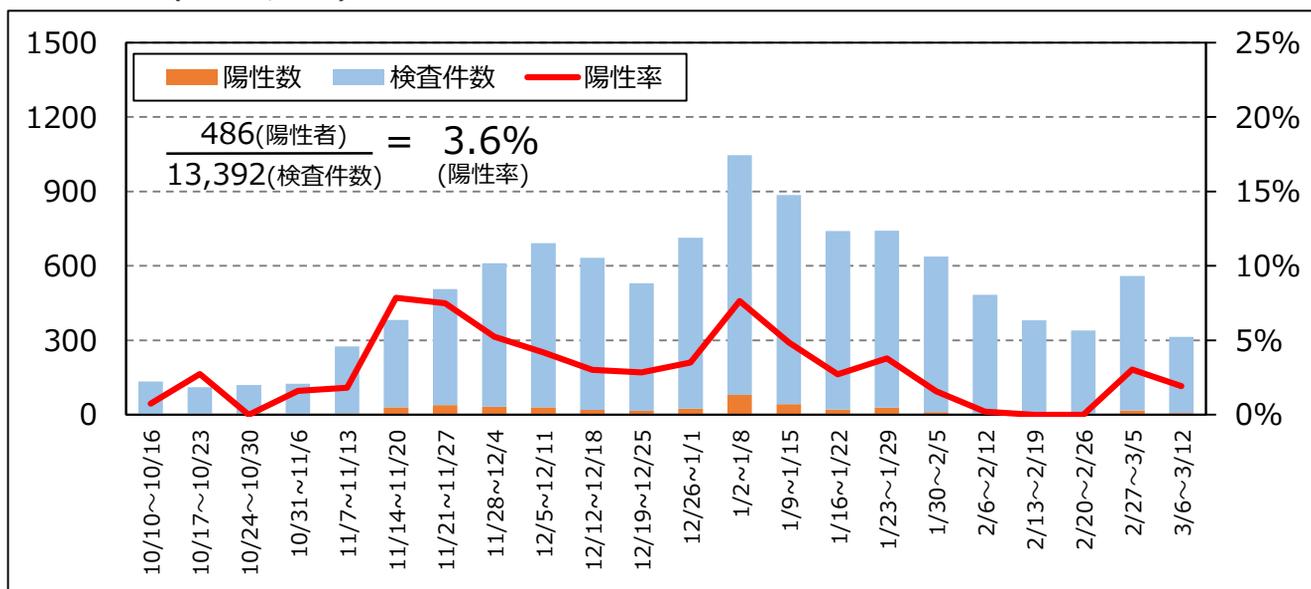
接触者検査陽性率 (n= 26,492)

※接触者検査…接触者調査の一環で実施した検査

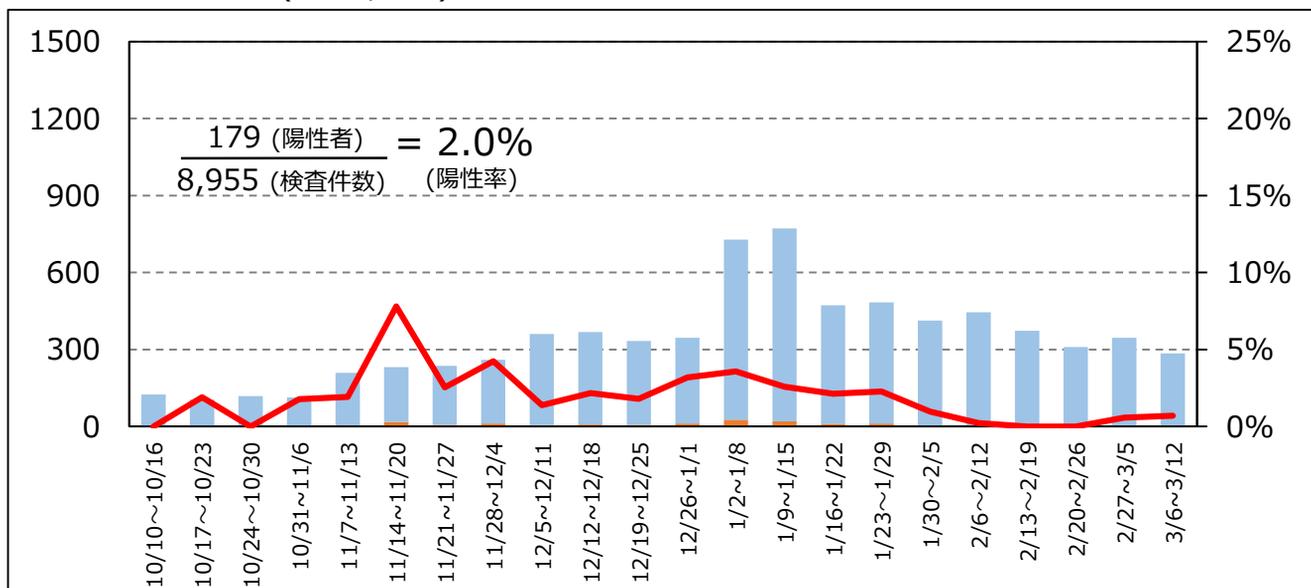


# 桑名保健所管内検査件数・陽性率 (n=13,392)

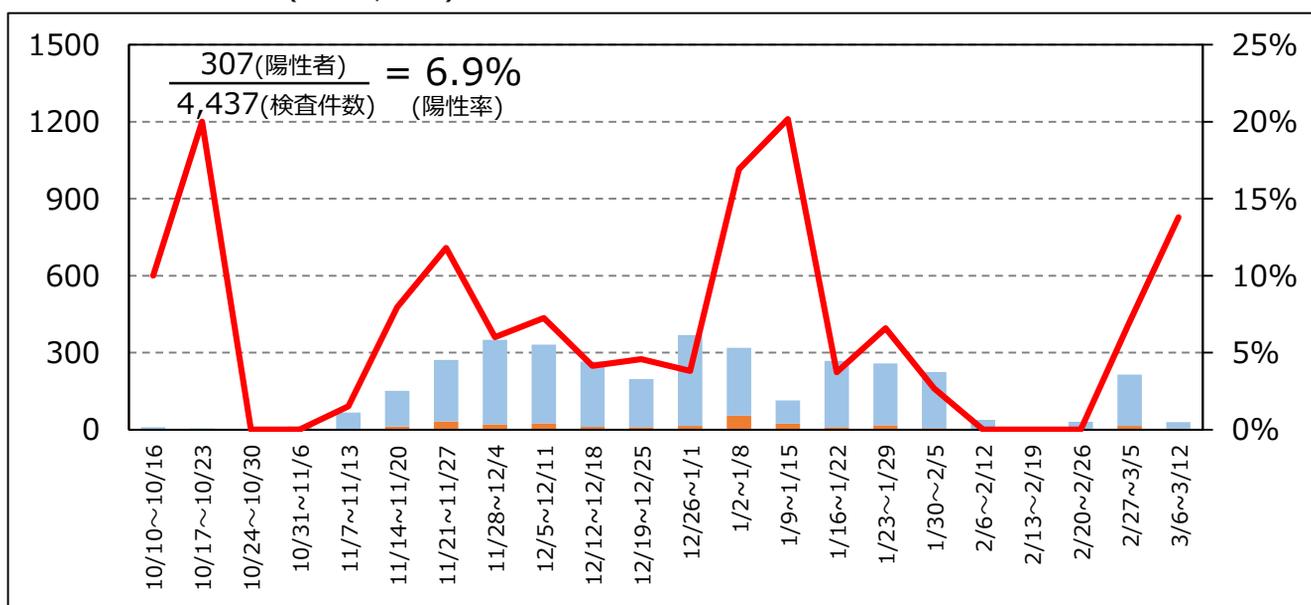
全体陽性率(n=13,392)



疑い例検査陽性率 (n= 8,955)

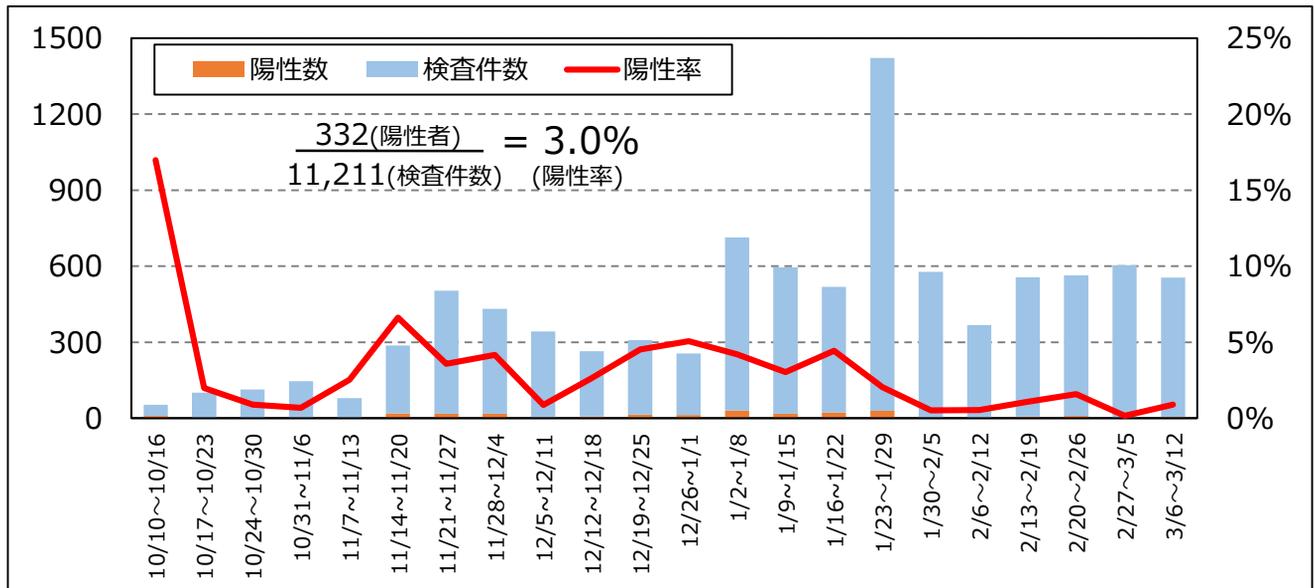


接触者検査陽性率 (n= 4,437)

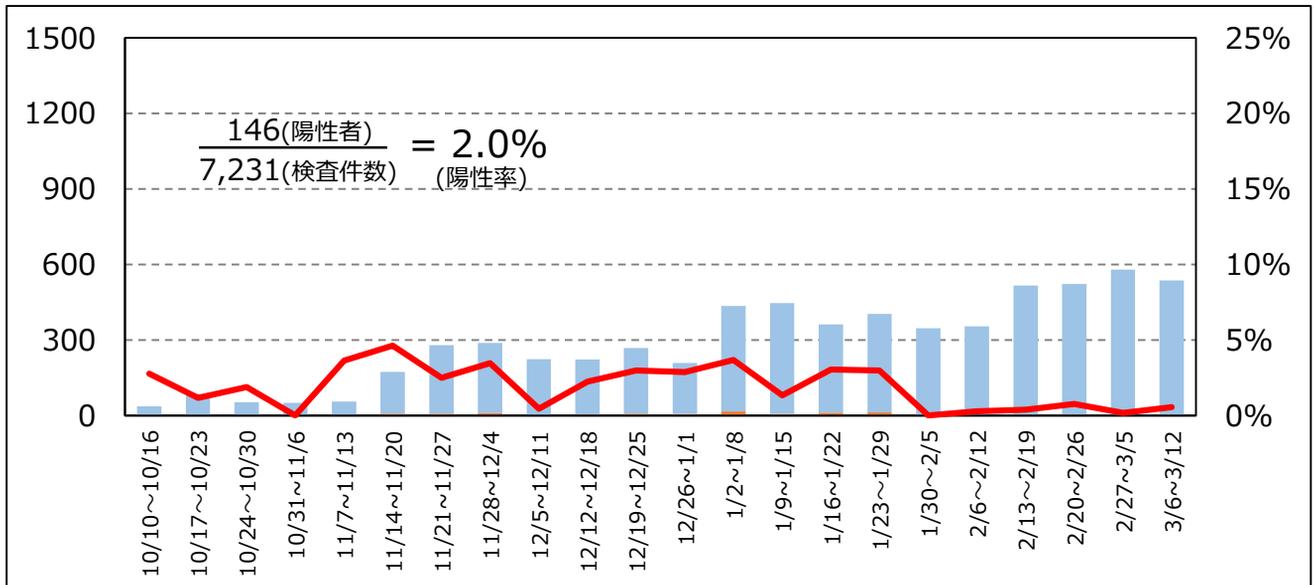


# 四日市市保健所管内検査件数・陽性率 (n=11,211)

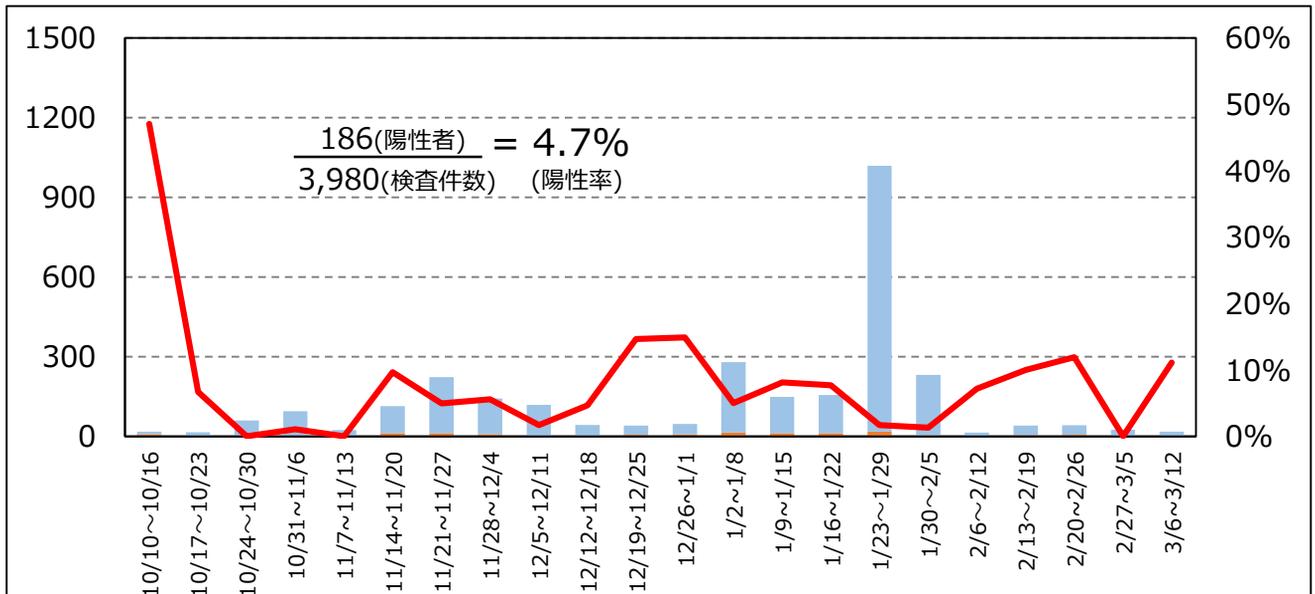
## 全体陽性率 (n= 11,211)



## 疑い例検査陽性率 (n= 7,231)

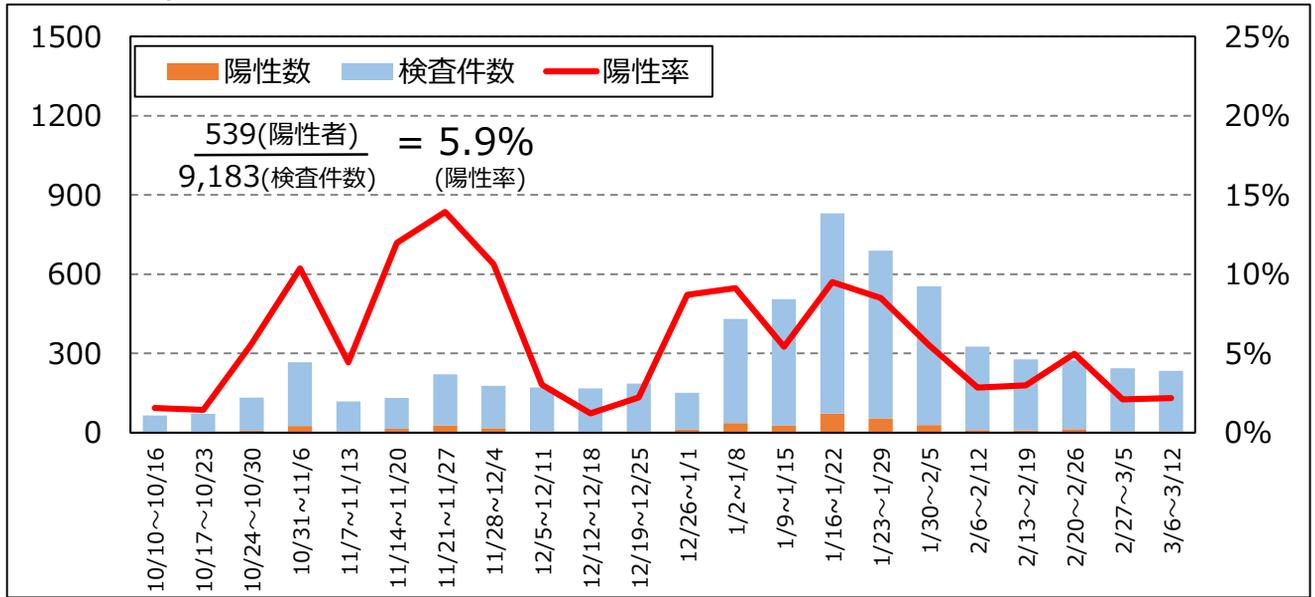


## 接触者検査陽性率 (n= 3,980)

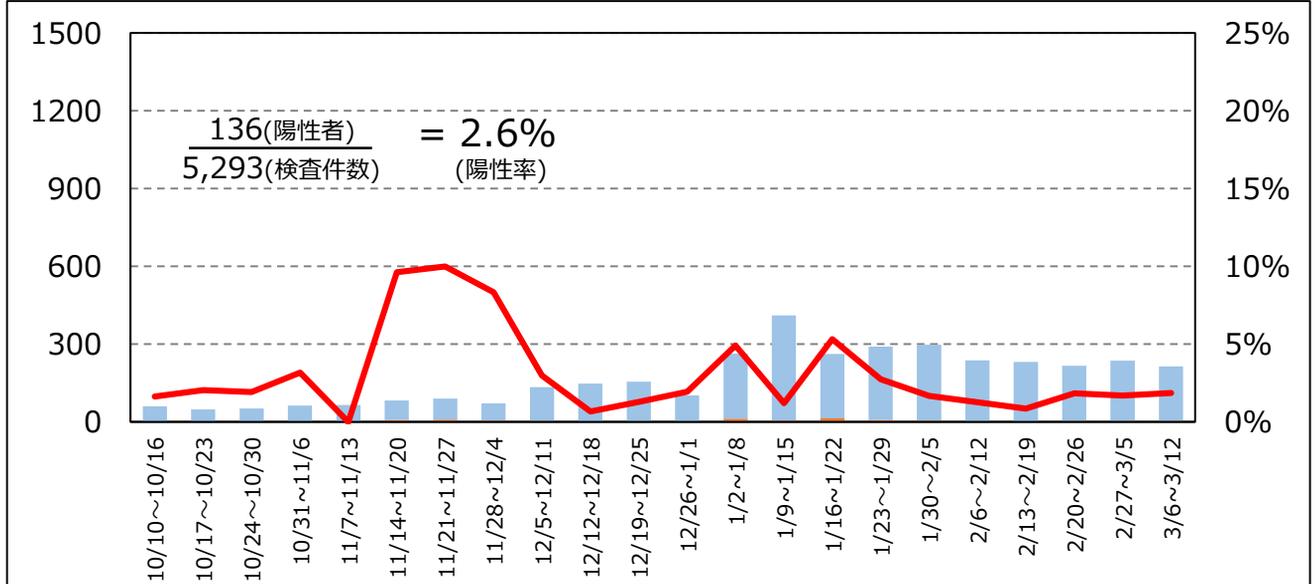


# 鈴鹿保健所管内検査件数・陽性率 (n=9,183)

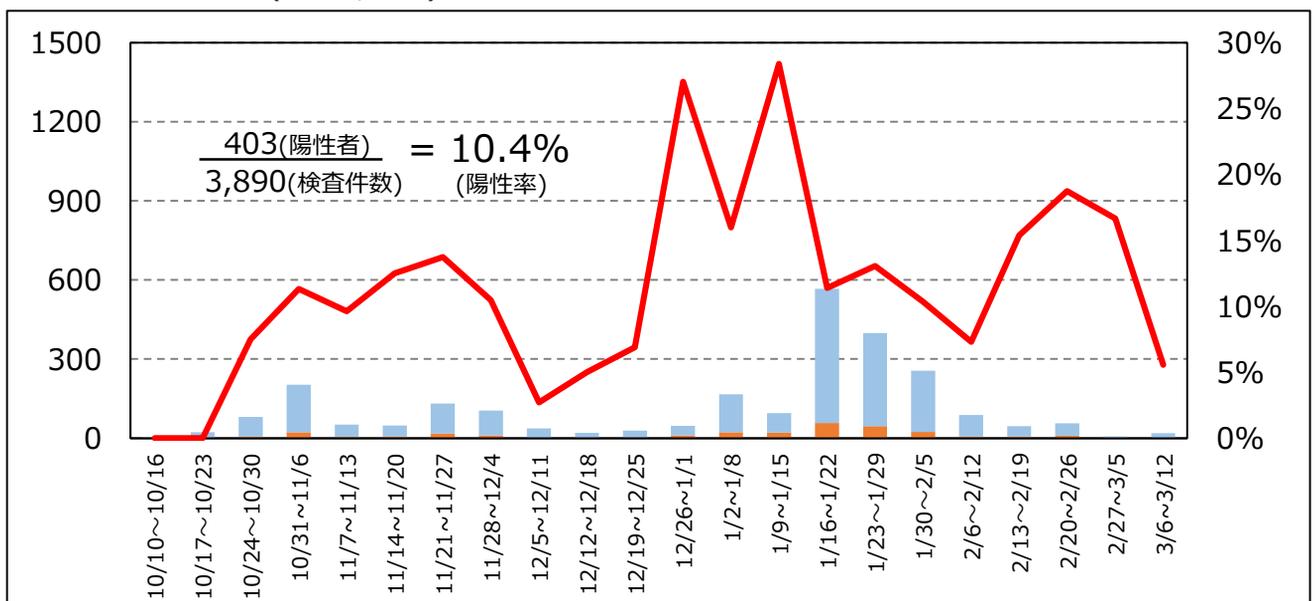
全体陽性率(n=9,183)



疑い例検査陽性率 (n= 5,293)

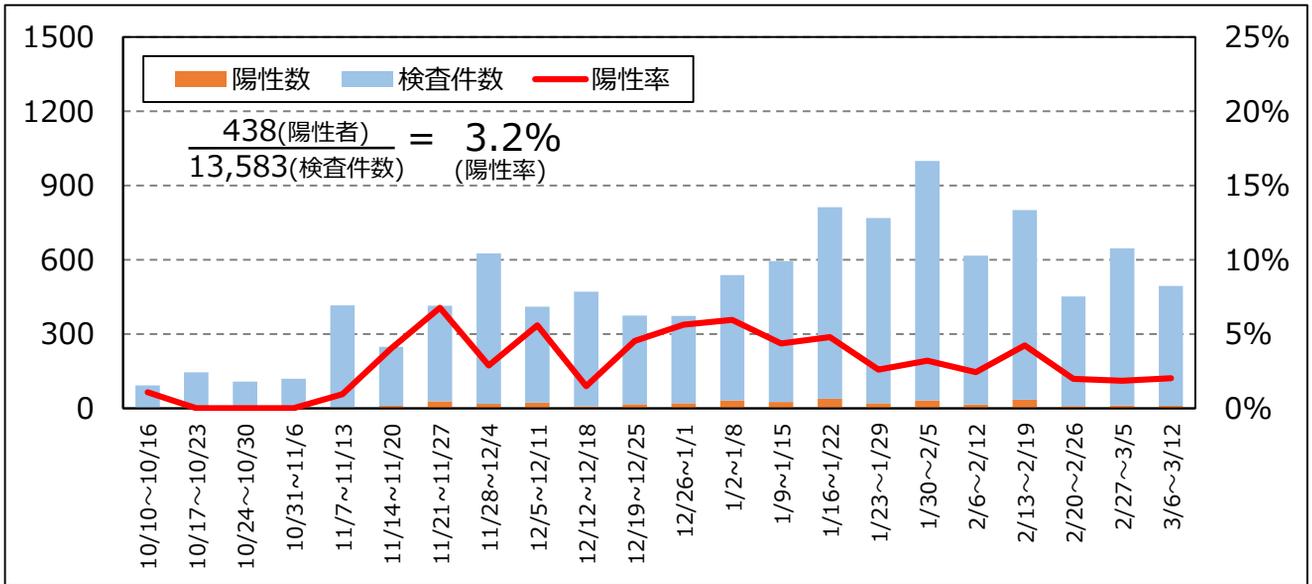


接触者検査陽性率 (n= 3,890)

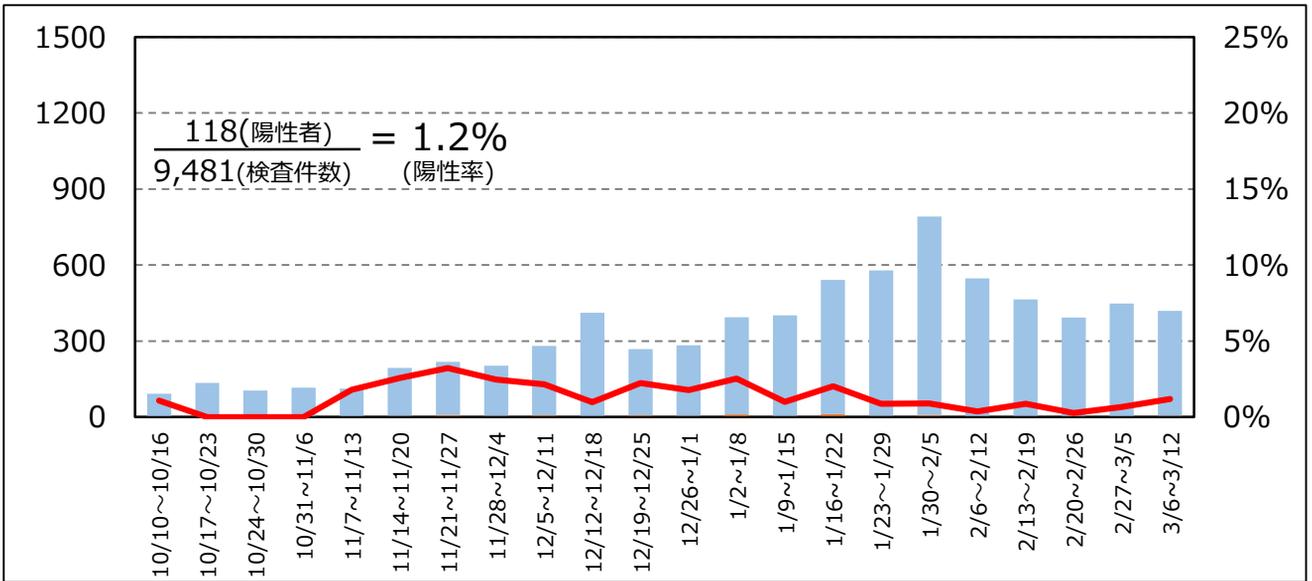


# 津保健所管内検査件数・陽性率 (n=13,583)

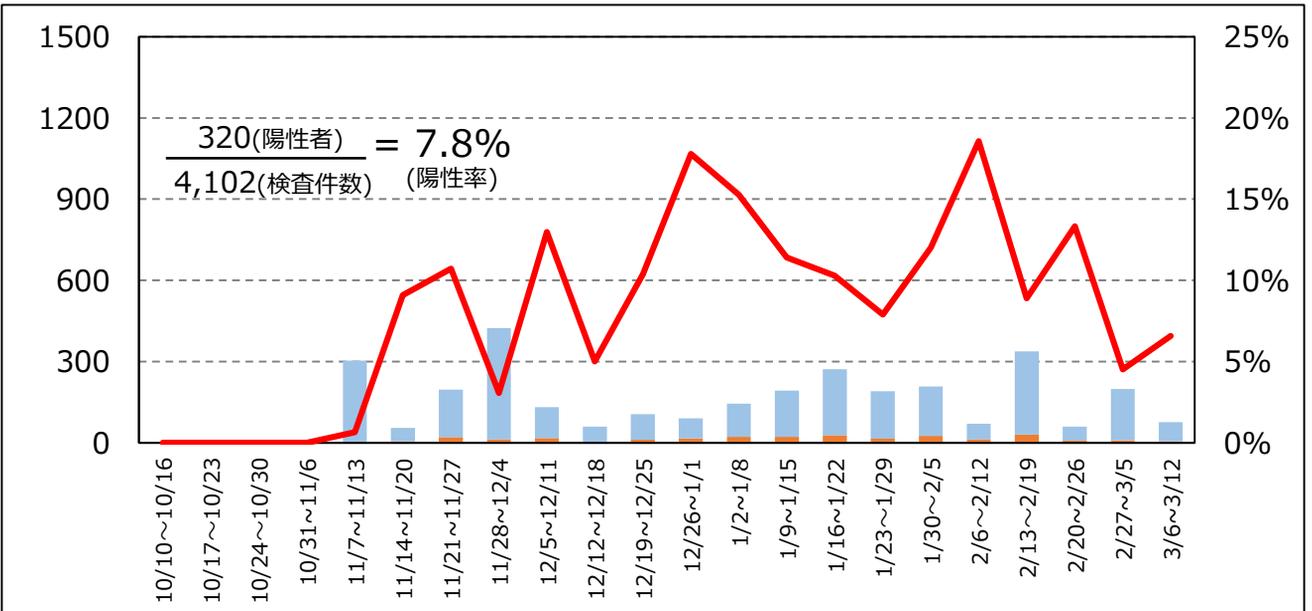
全体陽性率(n=13,583)



疑い例検査陽性率 (n= 9,481)

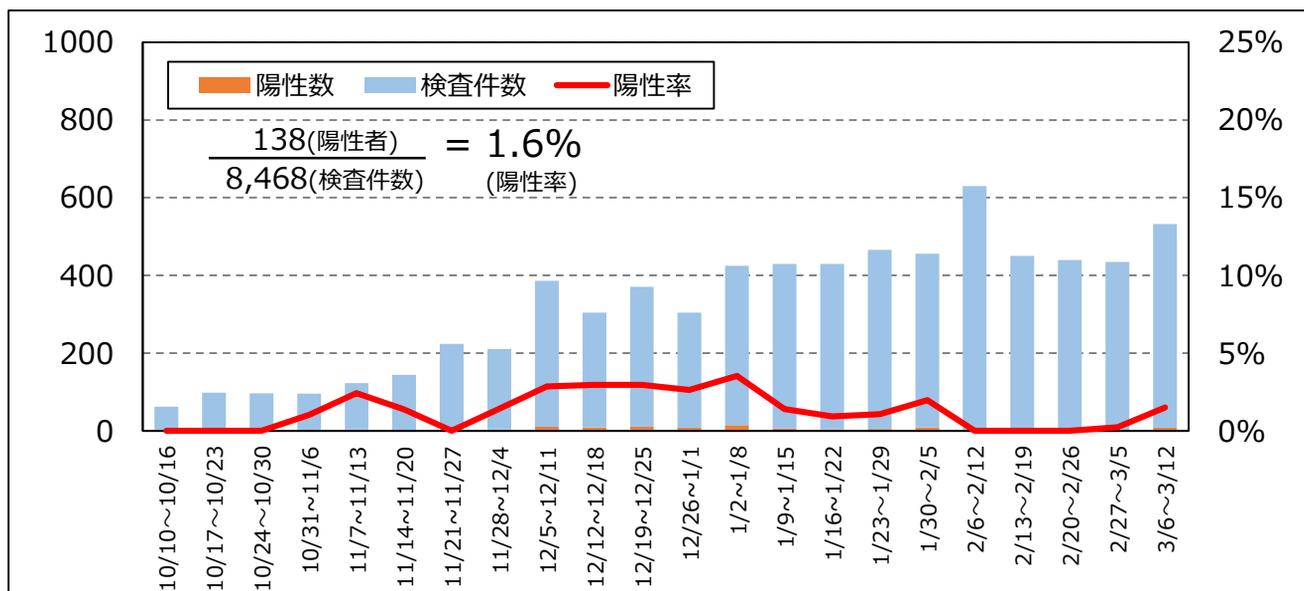


接触者検査陽性率 (n= 4,102)

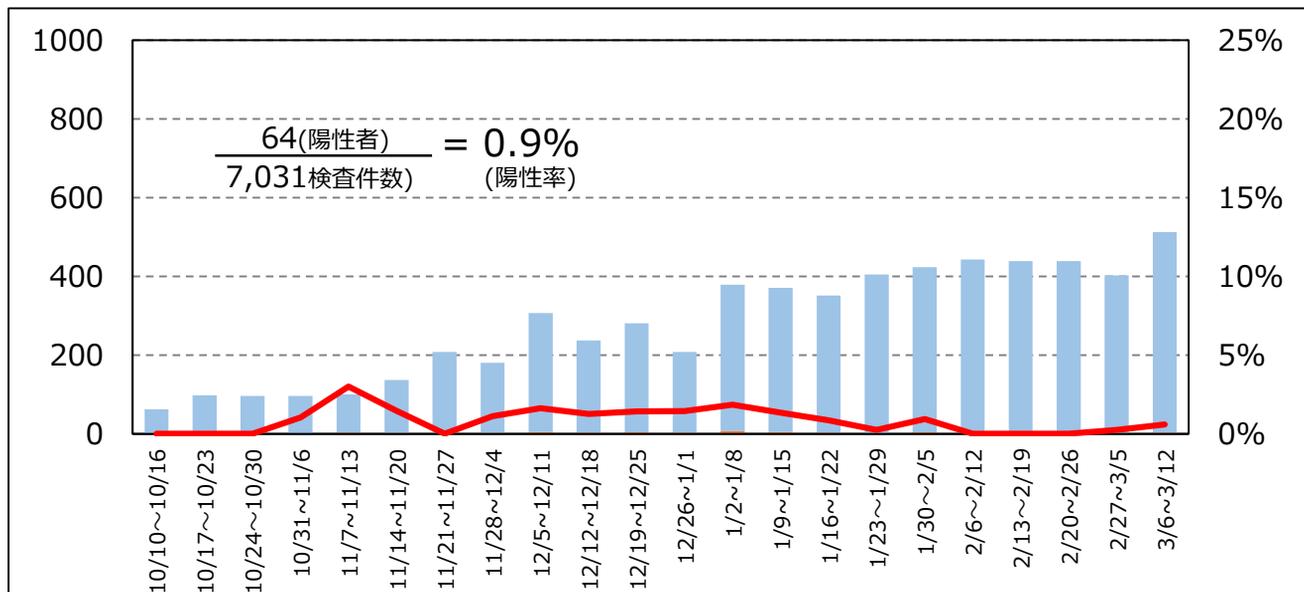


# 松阪保健所管内検査件数・陽性率 (n=8,468)

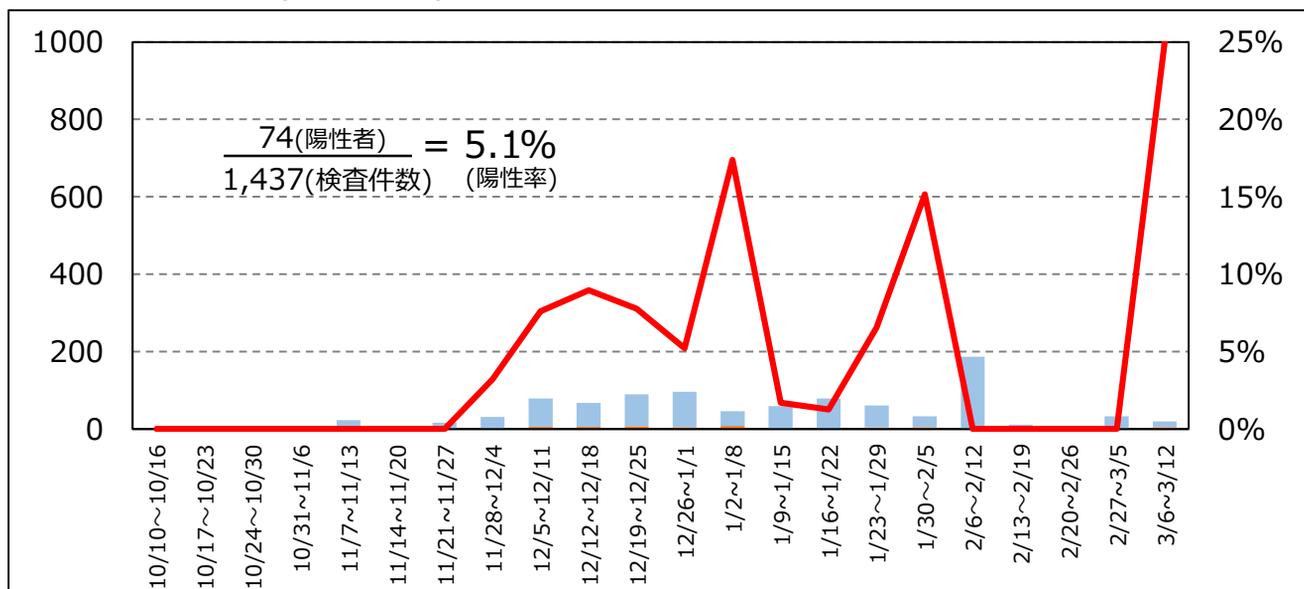
全体陽性率 (n=8,468)



疑い例検査陽性率 (n= 7,031)

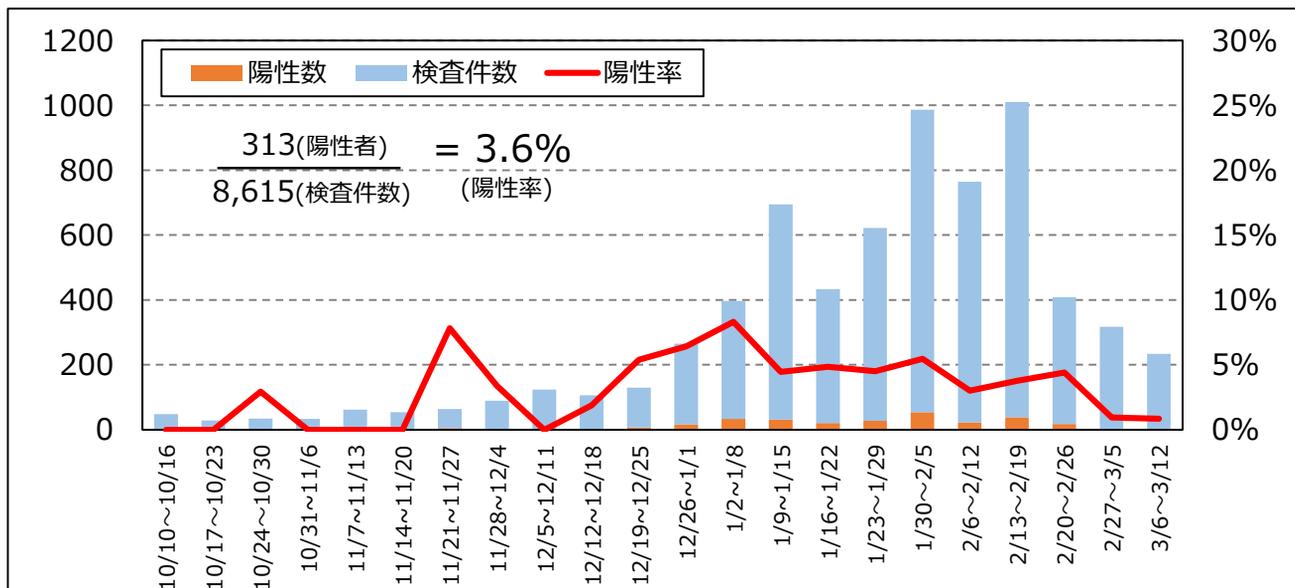


接触者検査陽性率 (n= 1,437)

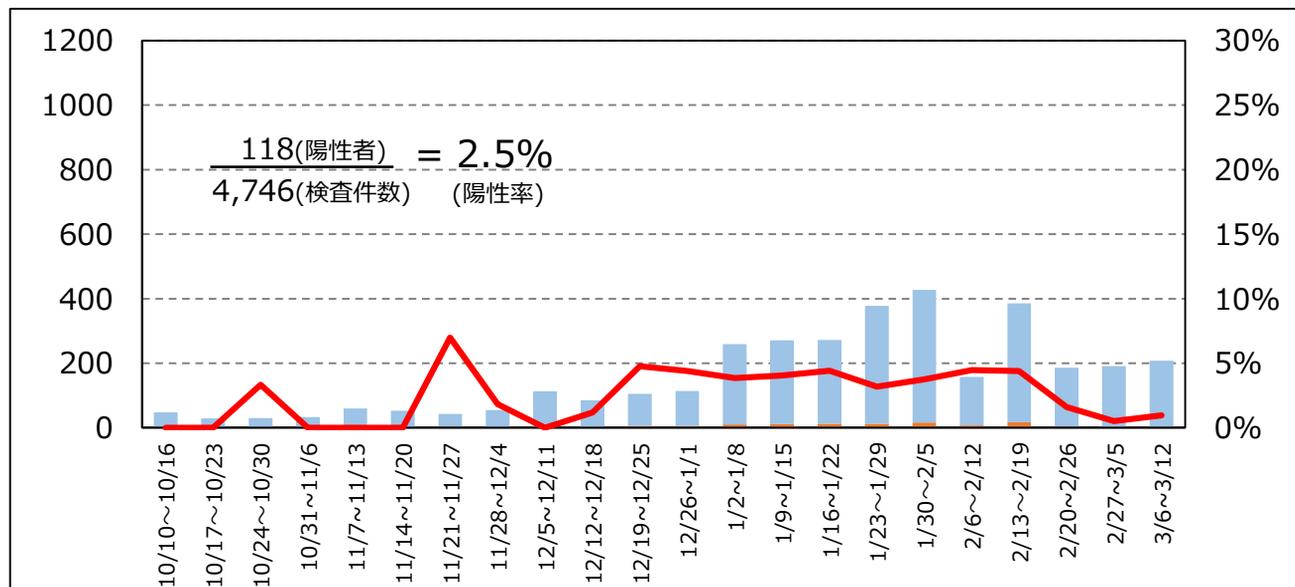


# 伊勢保健所管内検査件数・陽性率 (n=8,615)

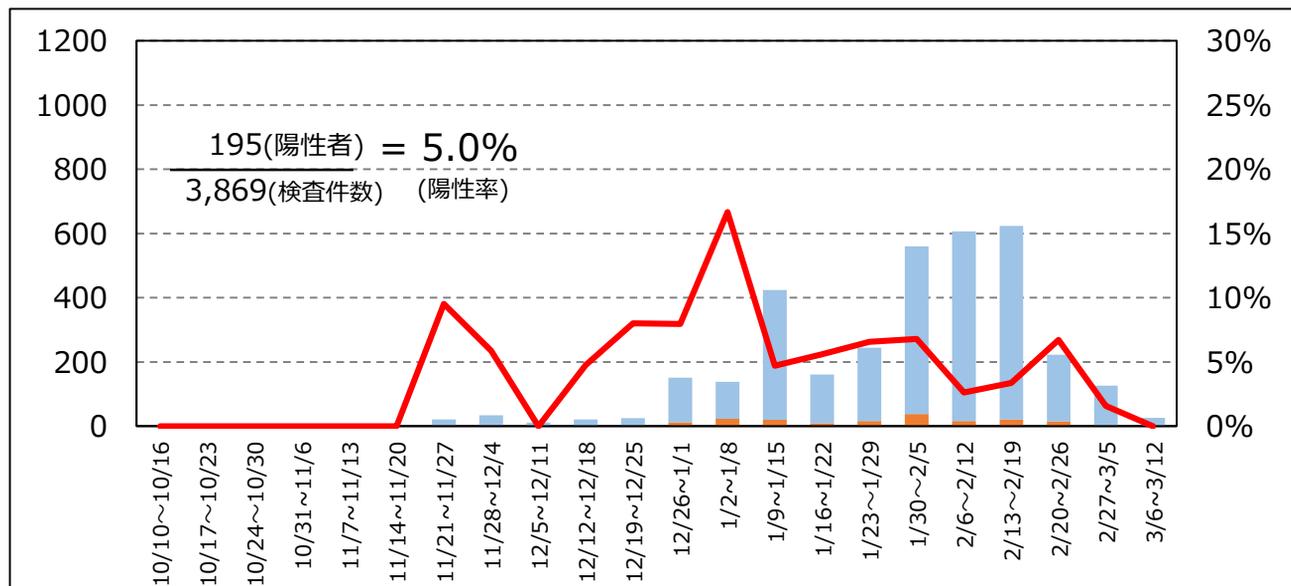
全体陽性率(n=8,615)



疑い例検査陽性率 (n=4,746)

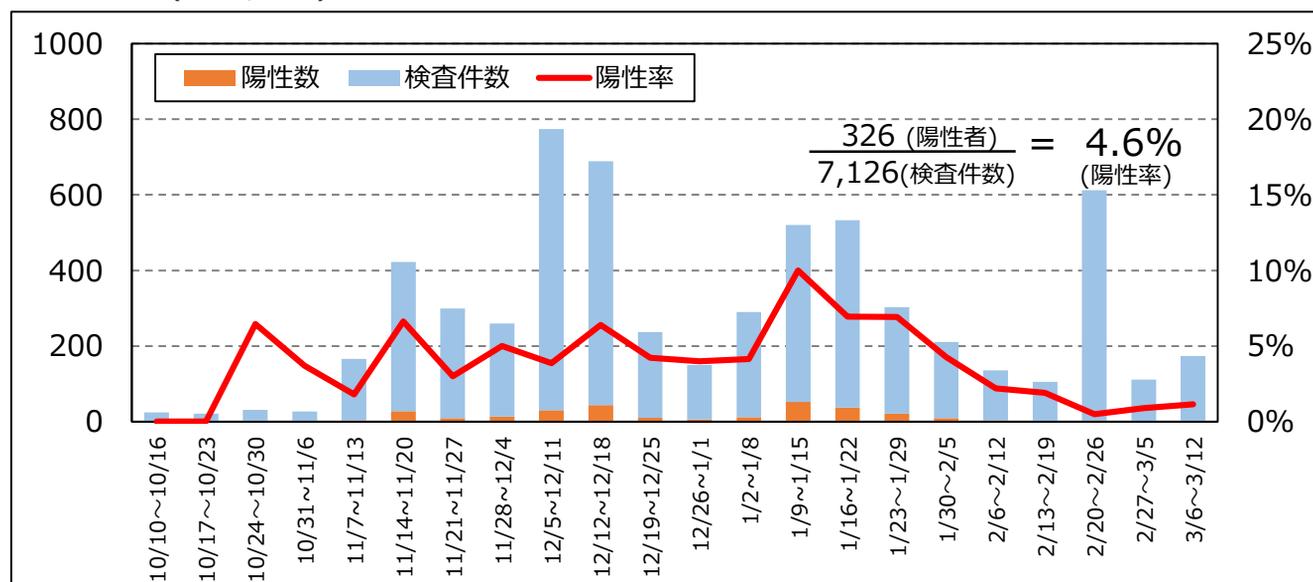


接触者検査陽性率 (n=3,869)

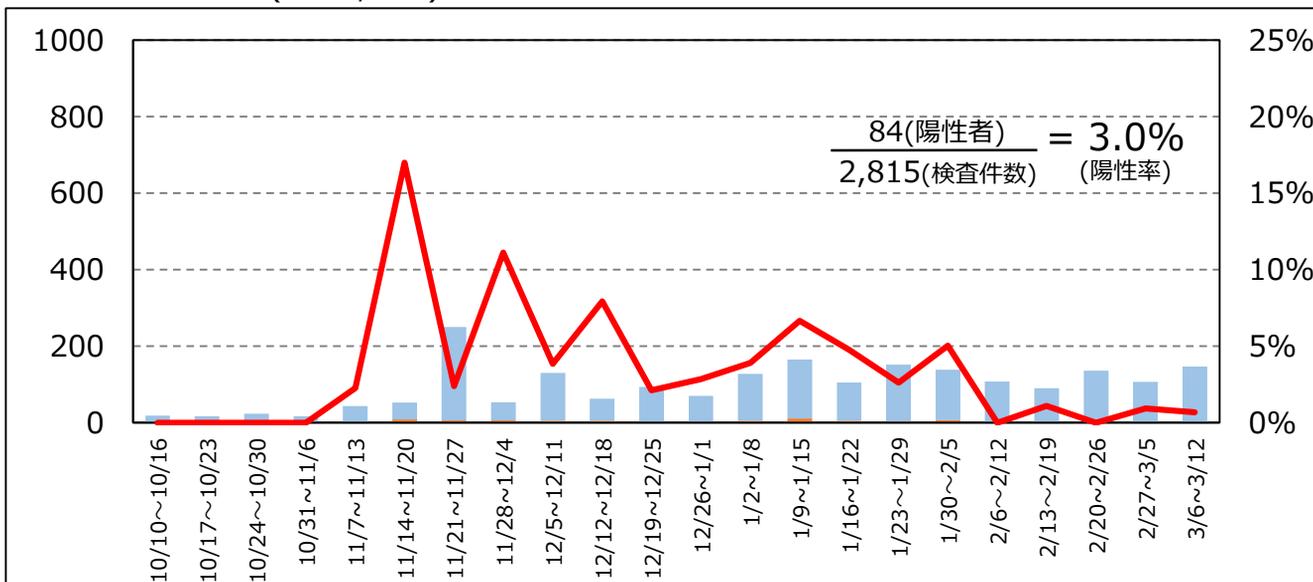


# 伊賀保健所管内検査件数・陽性率 (n=7,126)

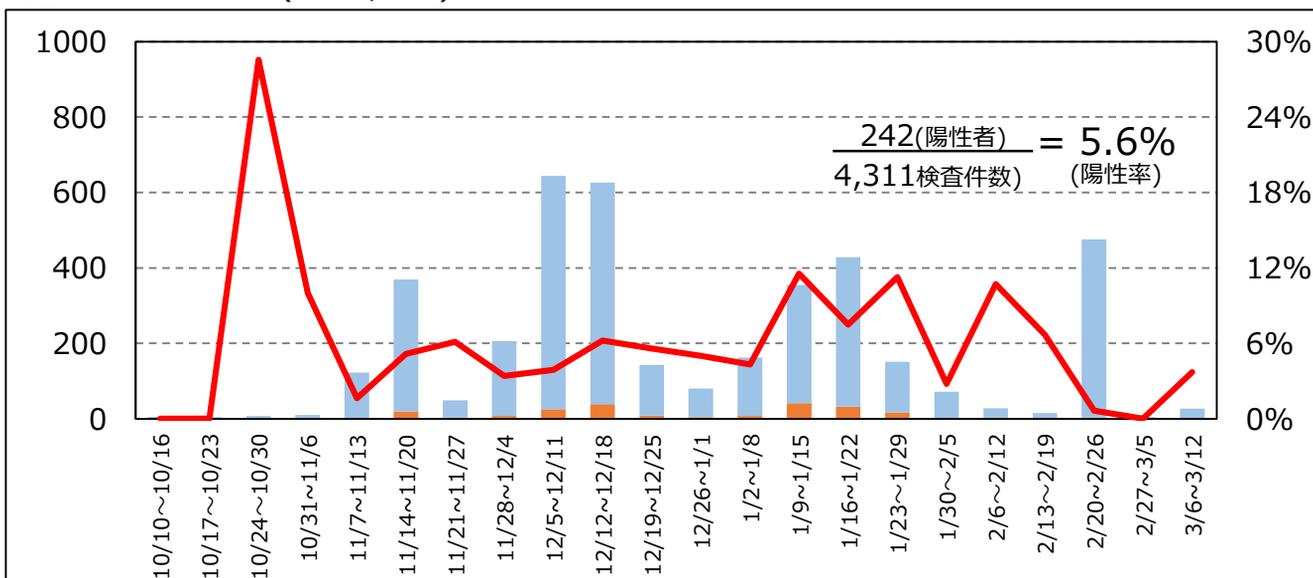
## 全体陽性率(n=7,126)



## 疑い例検査陽性率 (n= 2,815)

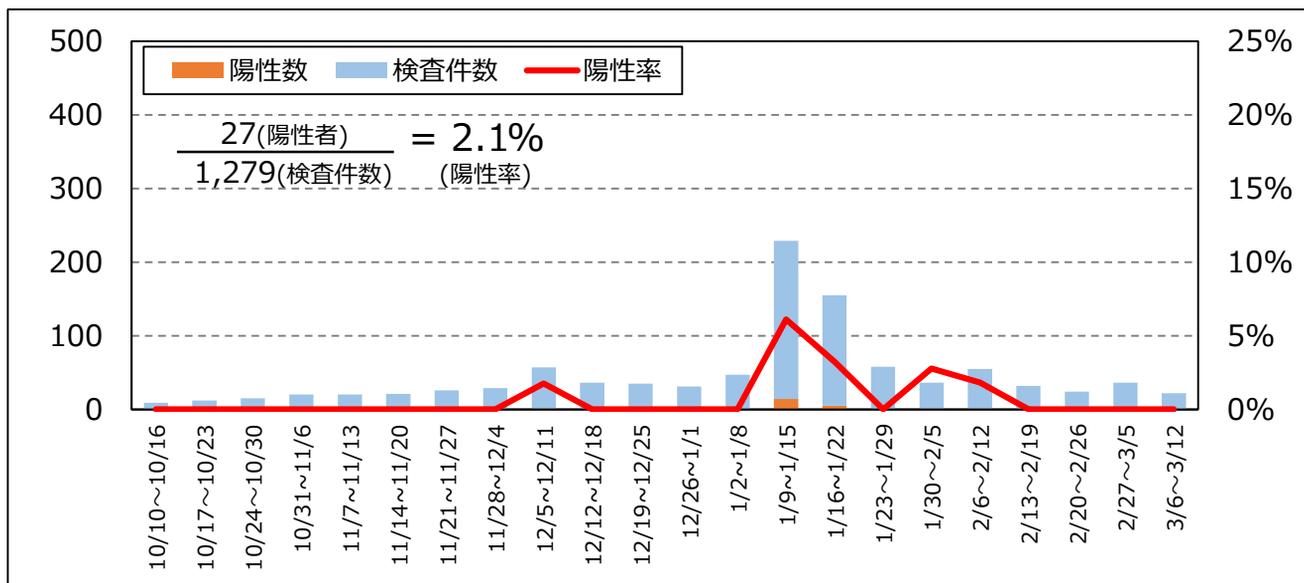


## 接触者検査陽性率 (n= 4,311)

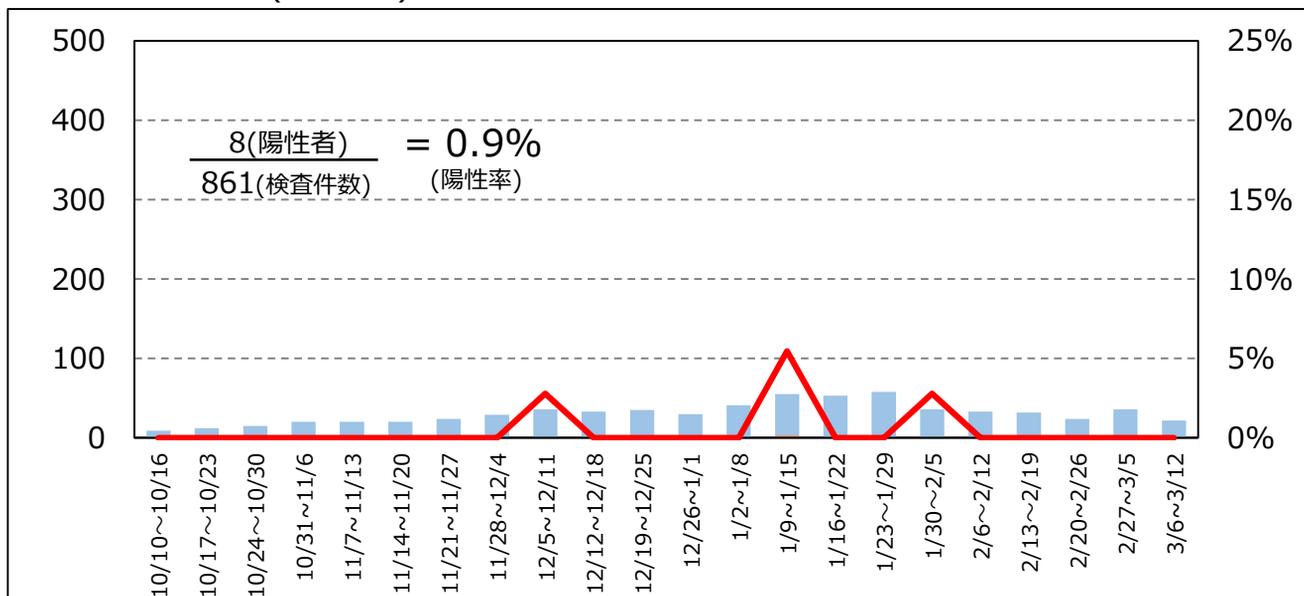


# 尾鷲保健所管内検査件数・陽性率 (n=1,279)

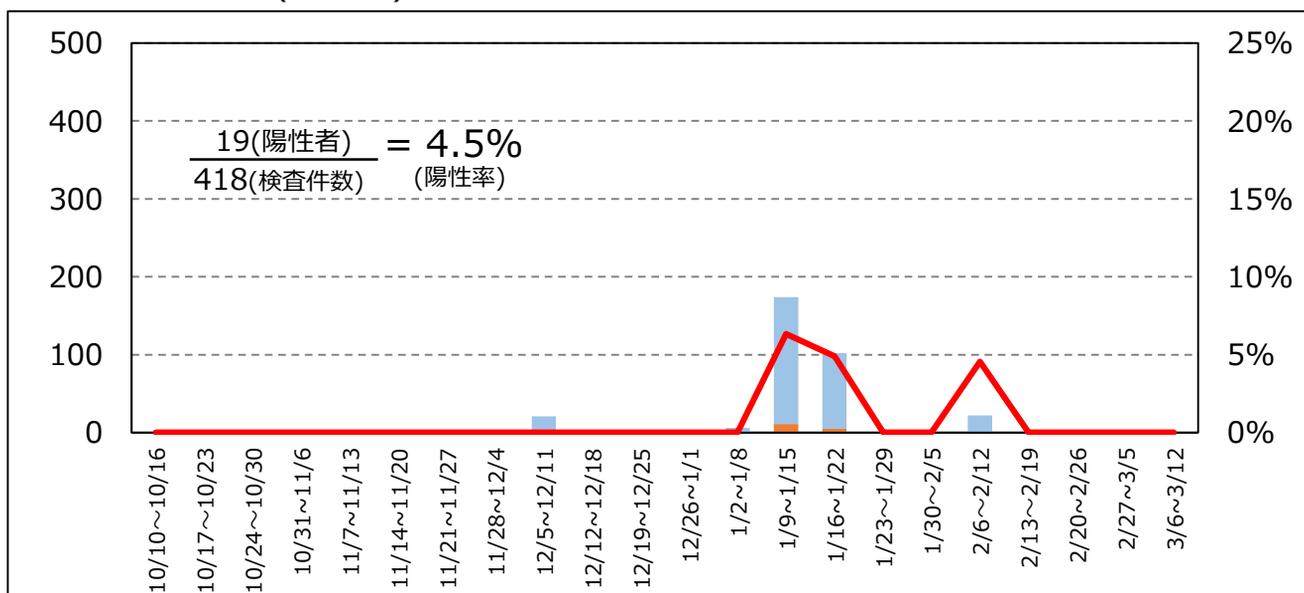
全体陽性率 (n=1,279)



疑い例検査陽性率 (n= 861)

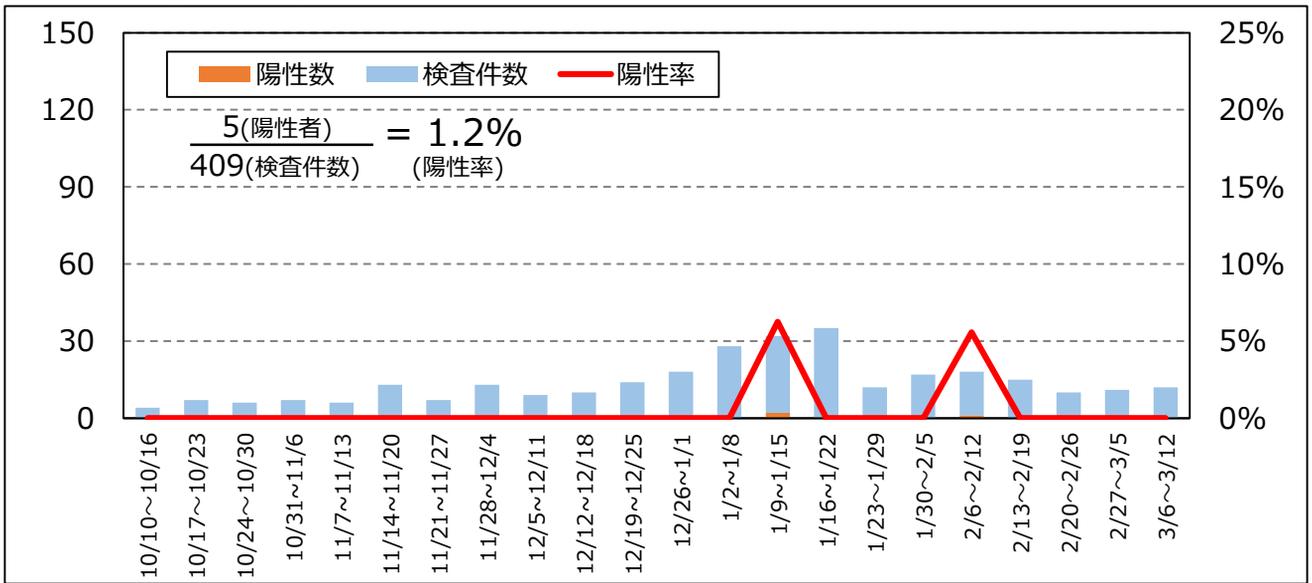


接触者検査陽性率 (n=418)

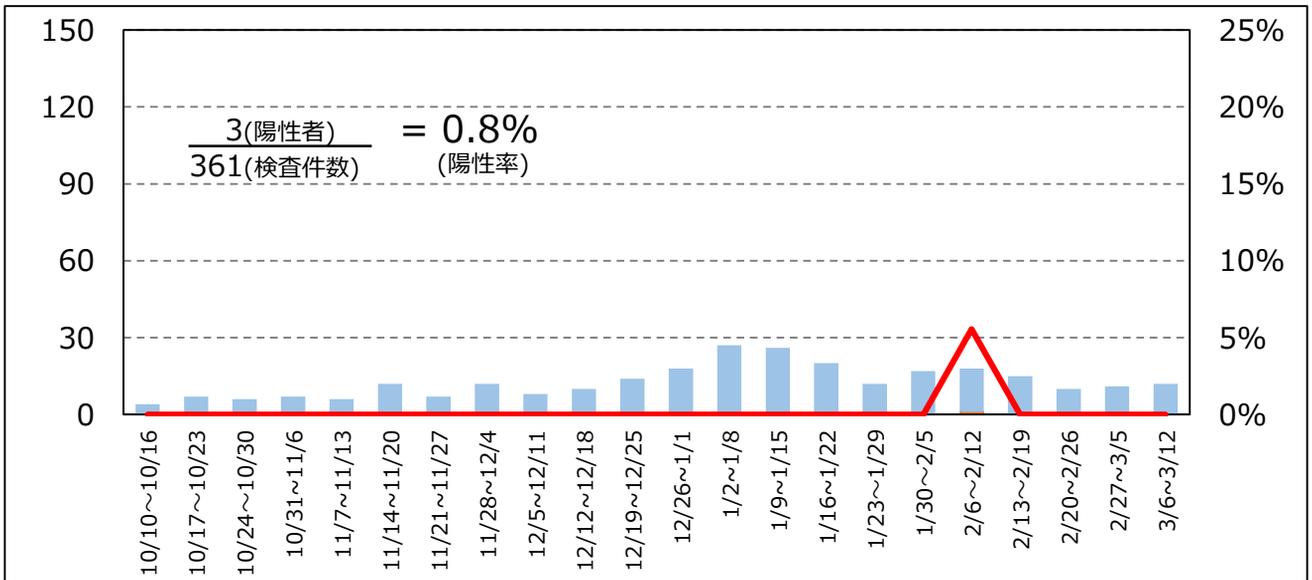


# 熊野保健所管内検査件数・陽性率 (n=409)

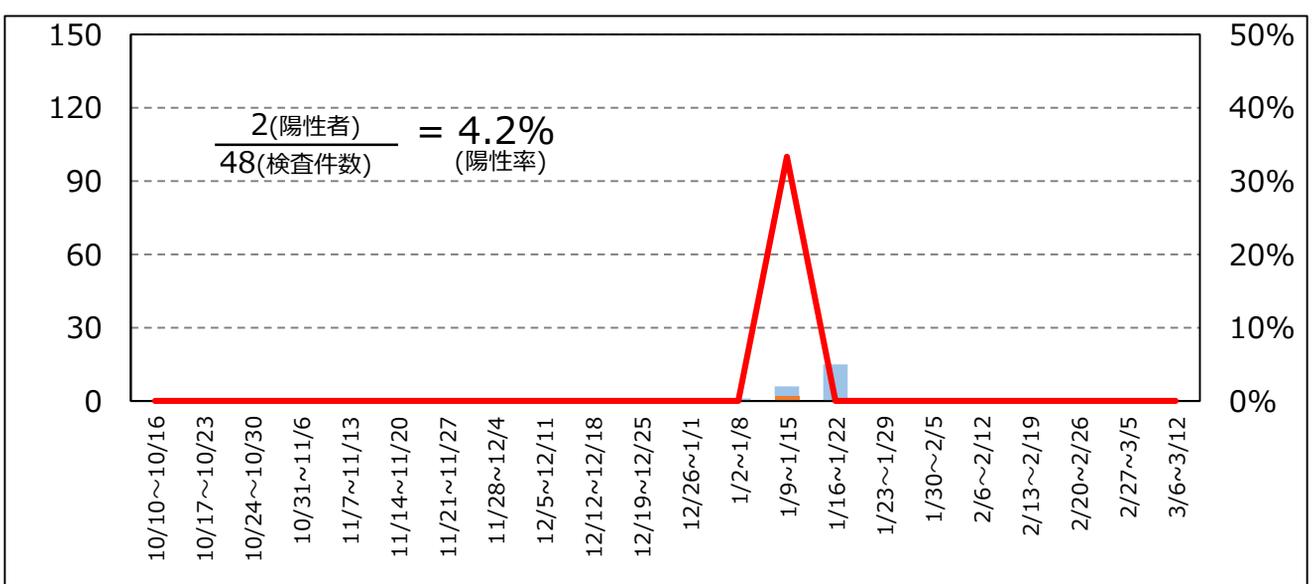
全体陽性率(n= 409)



疑い例検査陽性率 (n= 361)



接触者検査陽性率 (n= 48)



# 新型コロナウイルス感染症 県内第3波について ～感染者発生傾向と感染防止対策～

# 第3波の傾向（発生状況）

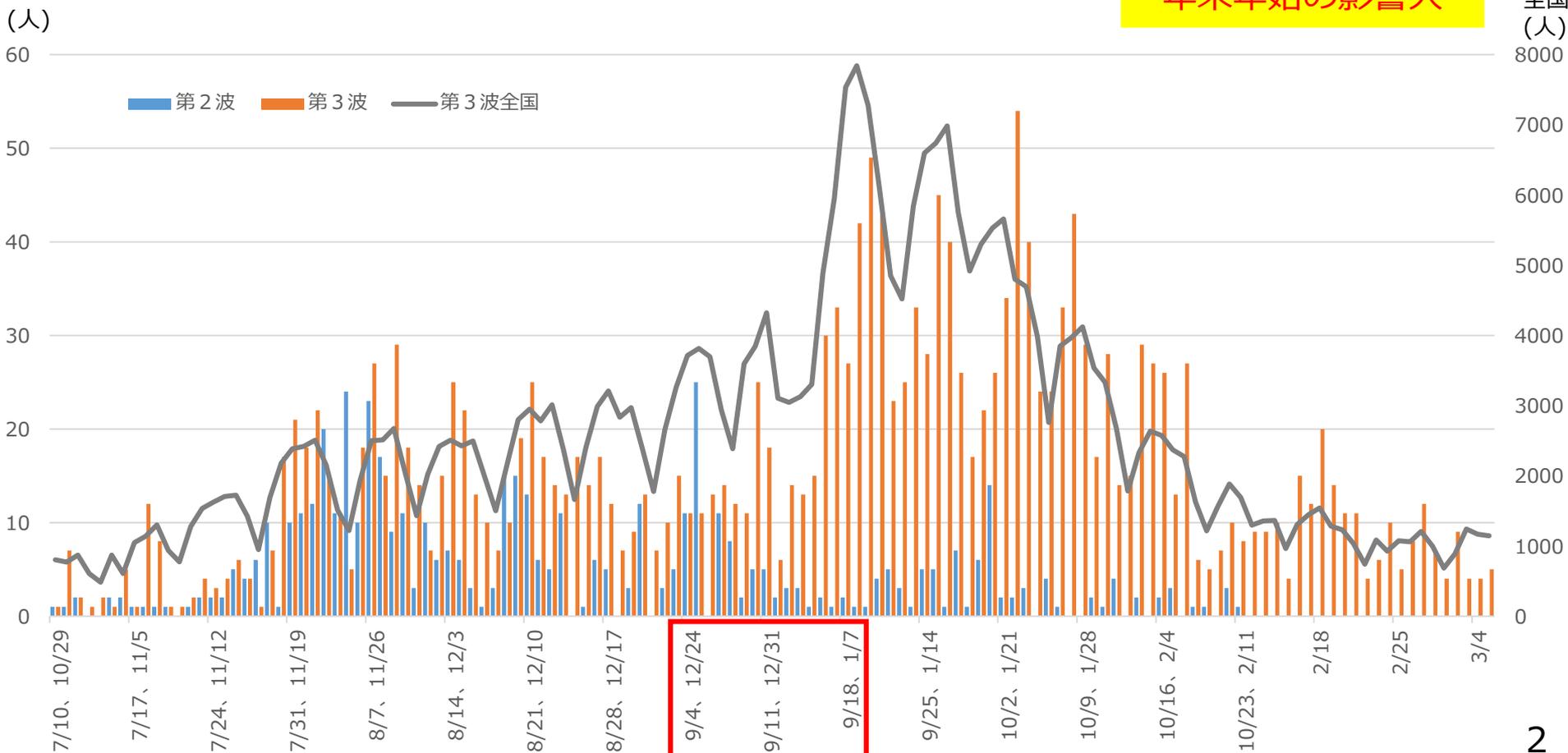
(R3/3/5時点)

|                   | 日数   | 感染者数   | 1日平均   |
|-------------------|------|--------|--------|
| 第2波：7/10～10/23    | 106日 | 509人   | 4.80人  |
| 第3波：10/29～(3/5時点) | 128日 | 1,999人 | 15.62人 |

◆発生後2か月は両波とも同傾向、それ以降**第2波は減少**、**第3波は大きく増加**

◆第3波の発生動向は全国とほぼ同じ傾向

年末年始の影響大



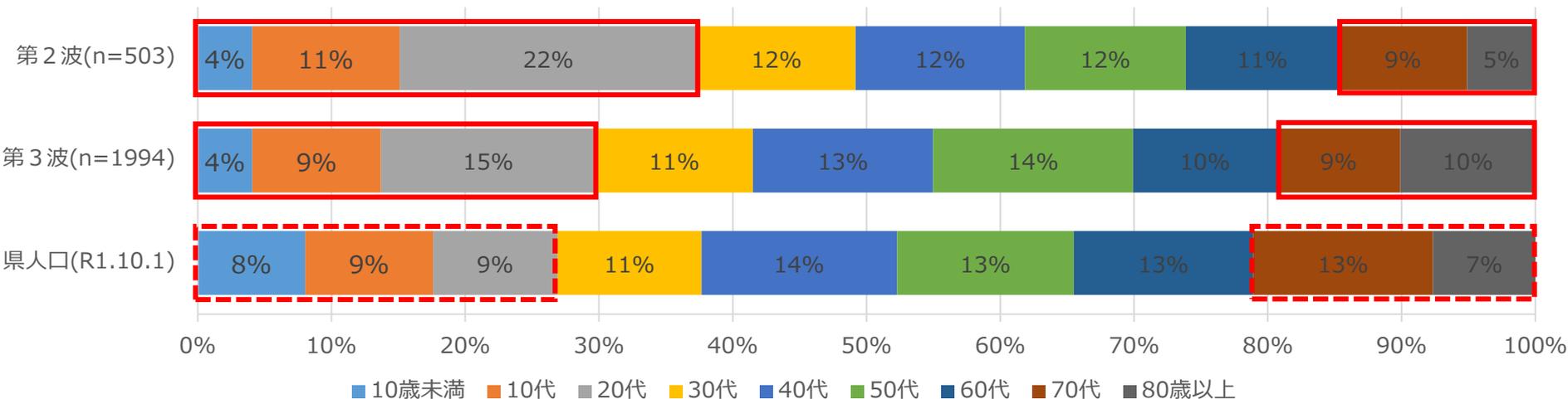
# 第3波の傾向（年齢別、リンク別）

(R3/3/5時点)

※再陽性者は除く

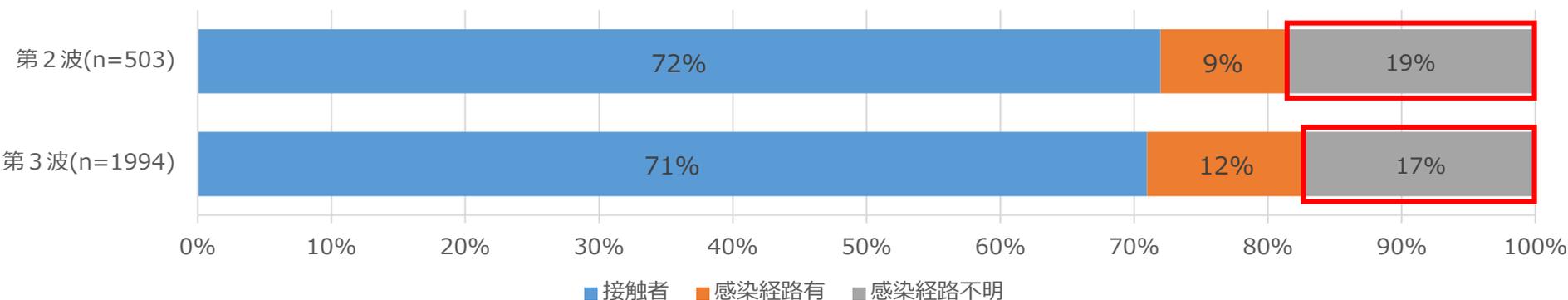
- ◆ 第3波は第2波に比べ20歳代以下が減少し、70歳代以上が増加
- ◆ 県人口割合と比べ20歳代以下が多い一方、高齢者は少ない

高齢者が多いと  
入院医療に負荷



- ◆ 第2波、第3波とも感染経路不明は20%未満でリンクが追えている状況

市中感染は抑制



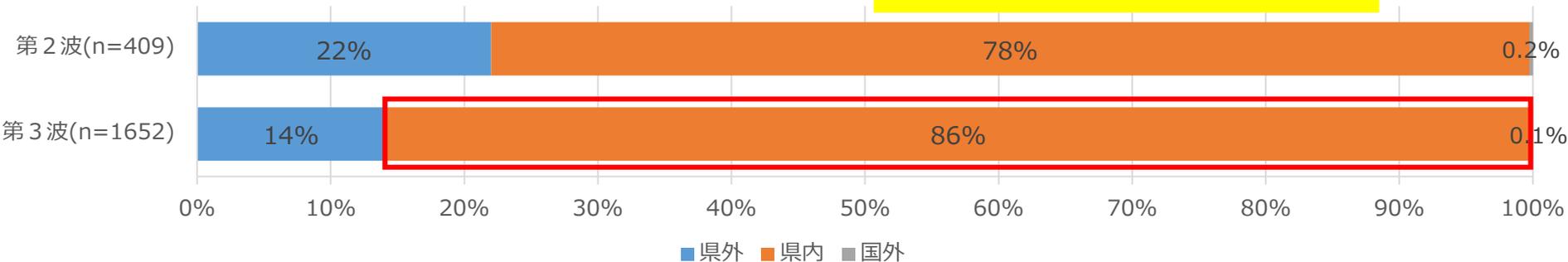
# 第3波の傾向（県内外、経路別等）

（R3/3/5時点）

※再陽性者は除く

◆**県内外別では第2波に比べ、県内割合が増加**

県外持込から県内感染拡大へ

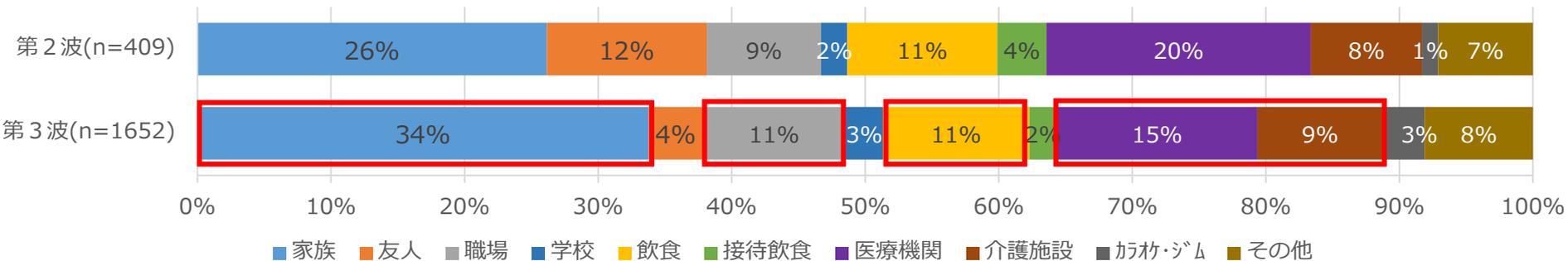


◆**経路別では第2波に比べ家族、職場が増加**

職場、飲食、クラスター施設などから家庭内へ

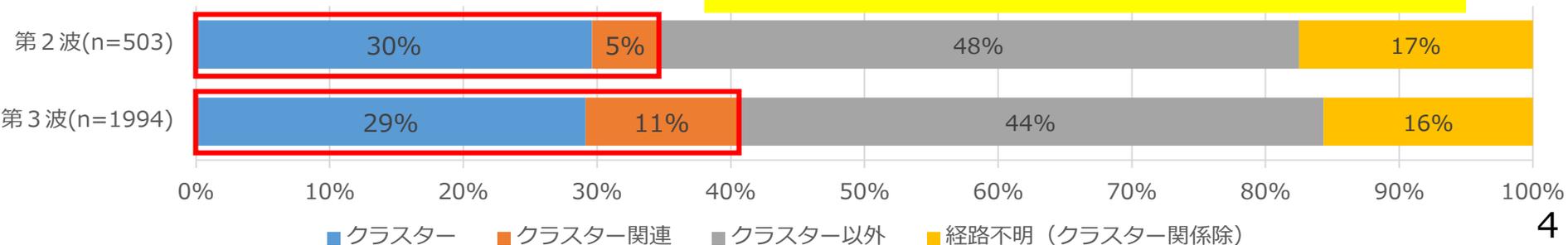
◆**クラスターの影響により医療機関、介護施設の割合が引き続き多い**

→県内感染拡大



◆**第3波ではクラスターにかかる感染者が全体の4割を占めている**

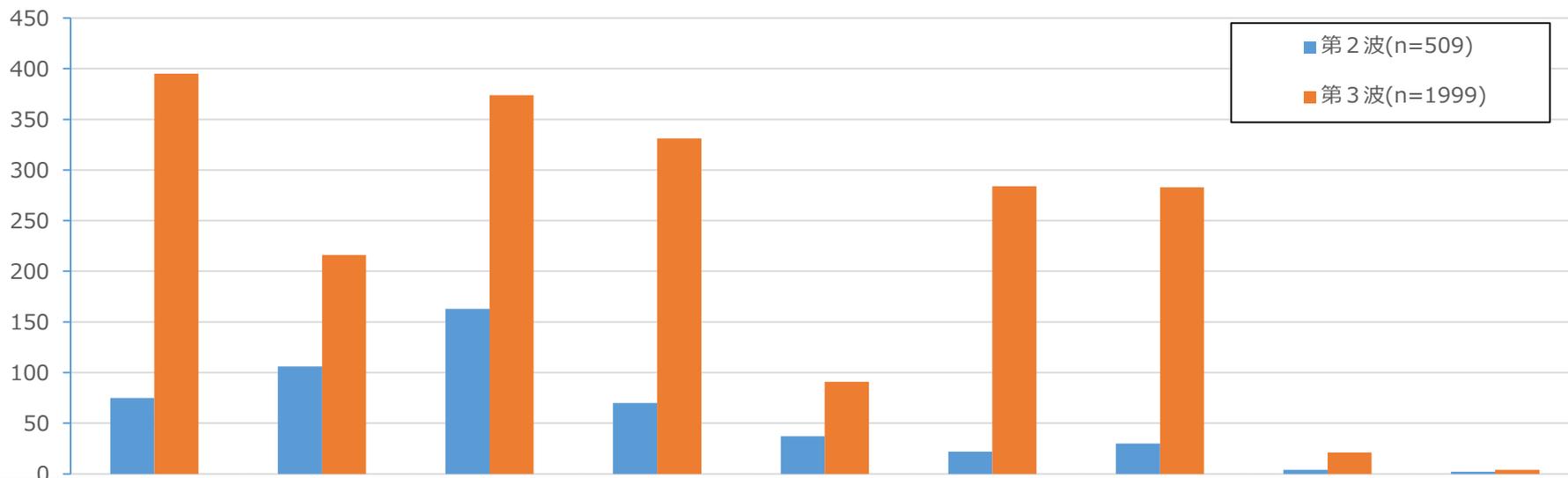
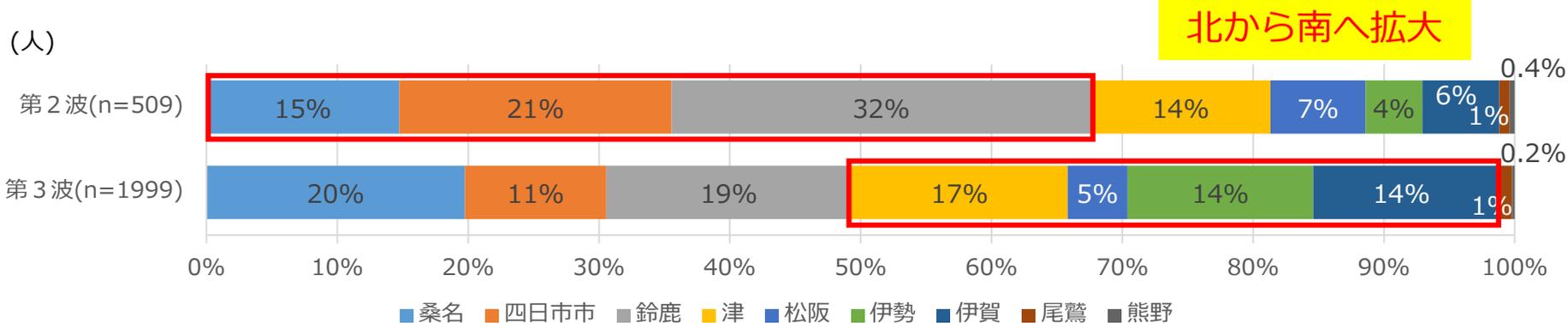
クラスターの発生・拡大を抑えることが重要



# 第3波の傾向（保健所別）

(R3/3/5時点)

- ◆ 第2波は約7割が北勢だったが、**第3波は中勢伊賀、伊勢志摩へも拡大**
- ◆ 第3波は全保健所で第2波の2倍以上発生、**特に伊勢、伊賀は大幅に増**



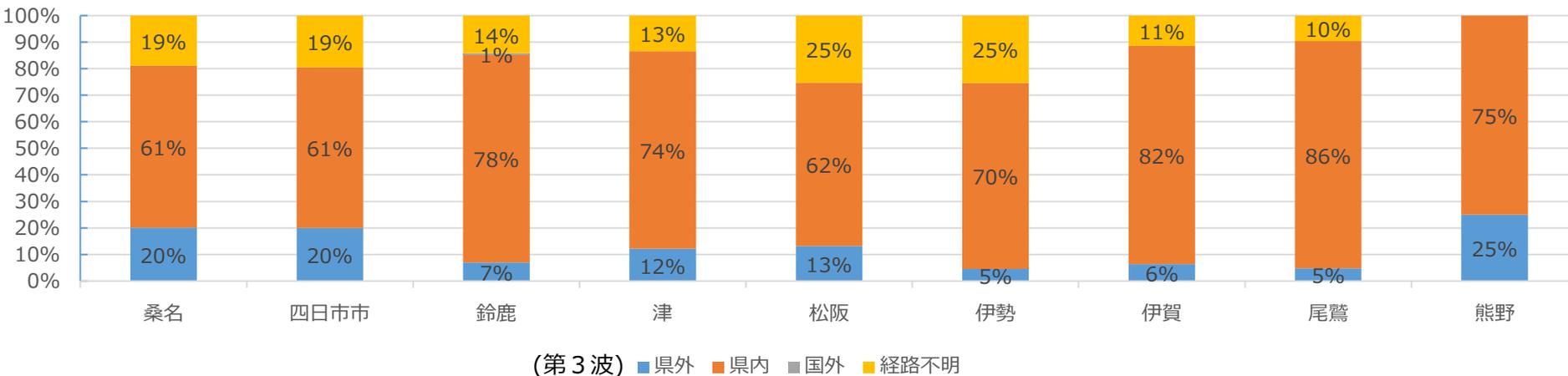
|           | 桑名  | 四日市市 | 鈴鹿  | 津   | 松阪  | 伊勢   | 伊賀  | 尾鷲  | 熊野  |
|-----------|-----|------|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|
| 第2波 (A)   | 75  | 106  | 163 | 70  | 37  | 22   | 30  | 4   | 2   |
| 第3波 (B)   | 395 | 216  | 374 | 331 | 91  | 284  | 283 | 21  | 4   |
| (B) / (A) | 5.3 | 2.0  | 2.3 | 4.7 | 2.5 | 12.9 | 9.4 | 5.3 | 2.0 |

# 第3波の傾向（保健所別）

(R3/3/5時点)

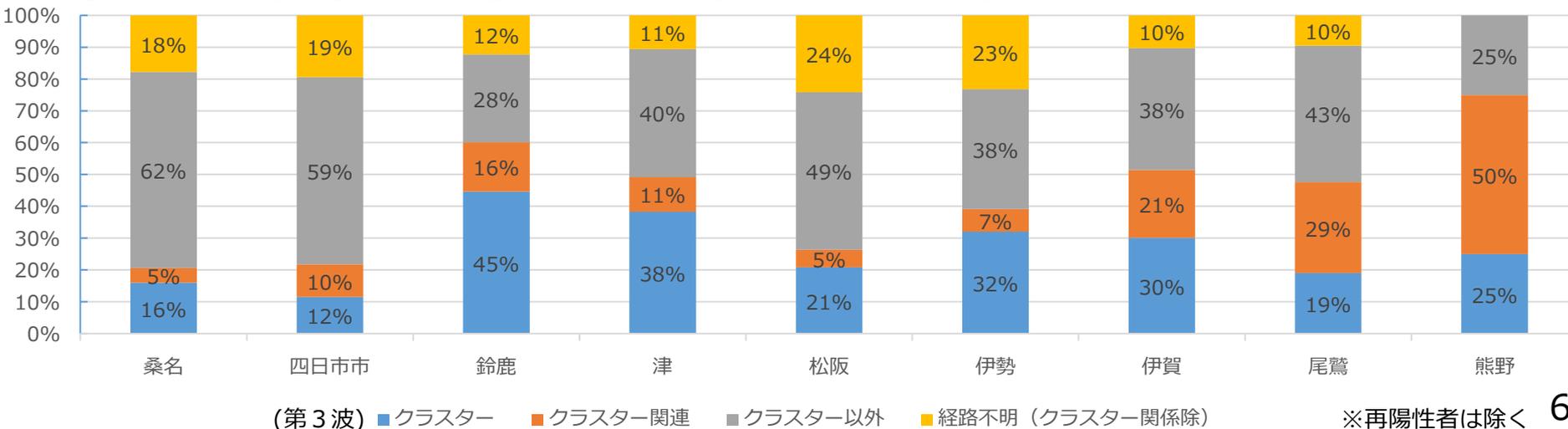
◆桑名、四日市市で県外由来の比率が高い一方、伊賀では県外由来の比率が低い

関西より中部から流入



◆鈴鹿は半数以上がクラスター関係、第3波で発生数が大幅増となった津、伊勢、伊賀もクラスター関係の比率が高い

県内全域に影響

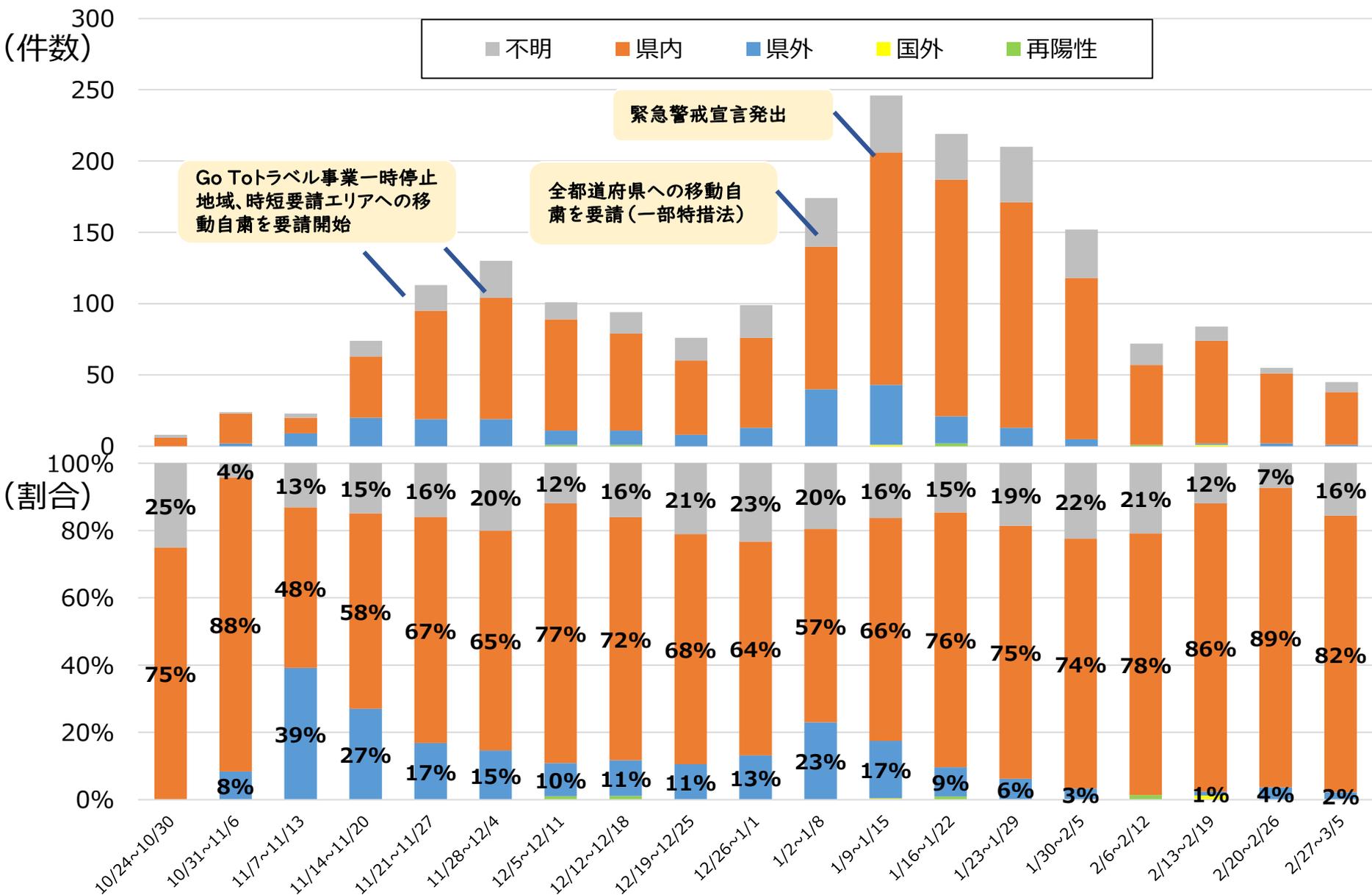


※再陽性者は除く

# 感染防止対策の概要（県外由来）

集計期間：10/29~3/5(n=1999)

※週別内訳、直近19週



# 感染防止対策の概要（県外由来対策）

## 感染拡大の傾向

県外由来の感染から、県内全域に感染が拡大する傾向

## 協力要請と感染状況の変化

- 11/7～11/13の週の県外由来割合は39%であったが、指針ver.7時点（11/19）では、**県境を越える移動自粛の協力要請**までは行っていない。
- 11月下旬以降、**Go To**トラベル事業の一時停止等により、**対象地域への移動自粛を協力要請**（11/26～12/21の間で5回呼びかけ）  
⇒12/5～12/11の週あたりから、それまでよりも県外由来割合は抑えられるが、依然として10%をやや上回る割合で推移
- ⇒12/26以降の年末の移動が十分に抑えられず、**年始から県外由来が増加、1月に入り20%を再び超える状況**
- 1/7 首都圏で緊急事態宣言発出、**指針ver.8**で**全都道府県への移動自粛を協力要請（一部特措法）**  
⇒1/16の週で10%を下回り、その後は減少傾向が継続
- 1/14 **緊急警戒宣言発出**  
⇒1/23の週以降も県外由来の減少傾向が顕著となり、**2/6～2/12の週は県外由来の感染はゼロに**

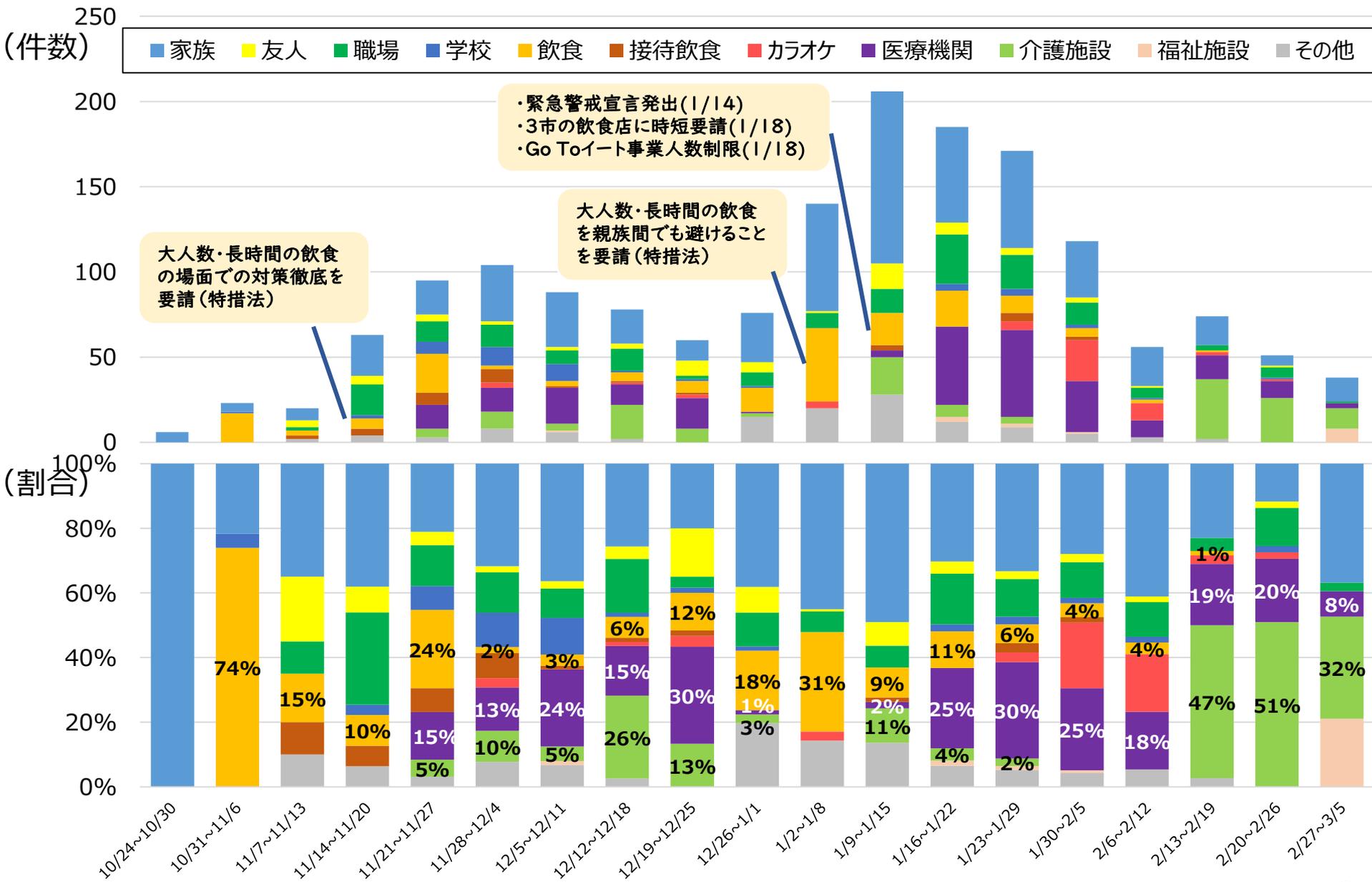
## 対策の成果・課題

- 県外移動の自粛を呼びかけることで、県内での感染拡大の端緒となる県外由来の感染は抑えることができた。
- ただし、**帰省等の年末年始の移動による感染を十分に抑えられなかった。**
- 1月に入り、**緊急事態宣言が発出され警戒感が強まり、更に、独自の緊急警戒宣言を発出した以降に低減傾向が更に顕著になった。**特措法を含む移動自粛という強い要請を行うことが**県外由来の感染防止につながる。**

# 感染防止対策の概要（飲食由来）

集計期間：10/29~3/5(n=1652)

※週別内訳、直近19週



# 感染防止対策の概要（飲食由来の感染対策）

## 感染拡大の傾向

飲食の場面で感染し、その後家庭内、県内に感染が拡大する傾向

## 協力要請と感染状況の変化

- 10/31以降、飲食の場面での感染が多発したことを受け、11/4に呼びかけを実施
  - その後も年末年始に向け飲食機会が増加することを見据え、飲食の場面での感染防止対策を注意喚起（11/13～1/6の間で8回呼びかけ）
  - 11/19 指針ver.7で大人数や長時間の飲食の場面での対策徹底を協力要請（特措法）
- ⇒11/27までは飲食由来の感染が多く、11/28～12/11の2週間は落ち着いていたが、12/12の週以降、飲食由来の感染が1/2の週をピークに増加
- 1/8 指針ver.8で特に大人数や長時間の飲食を親族間であっても避けることを協力要請（特措法）
  - 1/18 桑名市、四日市市、鈴鹿市内の酒類の提供を行う飲食店等に対する営業時間短縮要請（～2/7）
- ⇒1/23の週以降、大幅に減少し、2/20以降は飲食由来の感染はゼロ

## 対策の成果・課題

- 年末年始の飲食由来の感染を十分に抑えることができなかった。
- 1/23から飲食由来の感染は減少傾向にあり、1/8に特措法に基づく要請を強めたこと、1/18の営業時間短縮要請の効果があったと考えられる。
- 注意喚起は継続的に行ってきたが、年末年始を見据え、12/5から12/25の間により強い協力要請を行うことで感染拡大の防止につながった可能性がある。

# 感染防止対策の概要（外国籍と思われる感染者への対応）

## 感染拡大の傾向

外国人住民で1名陽性が判明すると、地域の外国人コミュニティ内ですでに感染が拡大しているというケースが多かった。

## 感染防止取組・協力要請

- 11/20 外国人住民向け「やさしい日本語」ポータルサイト立ち上げ
- 11/25 各国大使館へ啓発依頼
- 12/10 各学校へ外国人児童生徒及び保護者への対策周知依頼
- 1/12 外国人住民向け多言語ポータルサイト立ち上げ
- 1/27 中小企業団体中央会、商工会、商工会議所連合会へ対策周知依頼
- 2/1 保健所での調査等を支援するため外国語対応可能な調査員2名常勤配置
- 2/7 MieCoの相談日拡充（平日に加え、日曜日も対応）
- 3/3 感染拡大防止に関する知事からの多言語メッセージ動画配信

## 対策の成果・課題

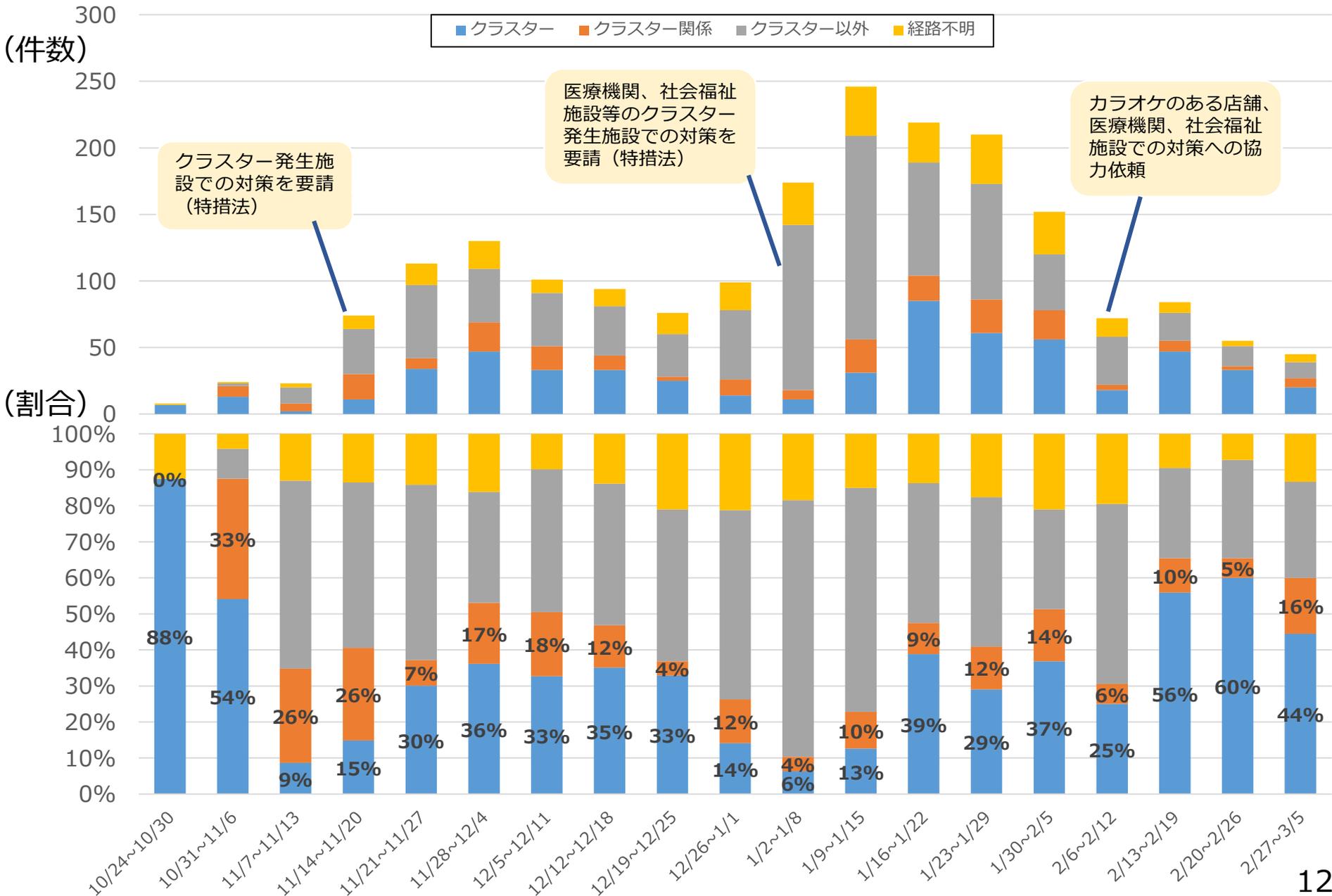
- 1名の陽性判明後、その先に拡大しているケースが減少
- 会食・外食は生来の食文化であり、行動変容が難しい面はあるものの、職場や家庭内での生活様式などで、適切な感染防止対策が定着しつつあると考えられる。

## 今後の取組

- 多文化共生に関わる市民団体と連携し、国籍・コミュニティに応じた効果的な情報発信や啓発を検討・実施

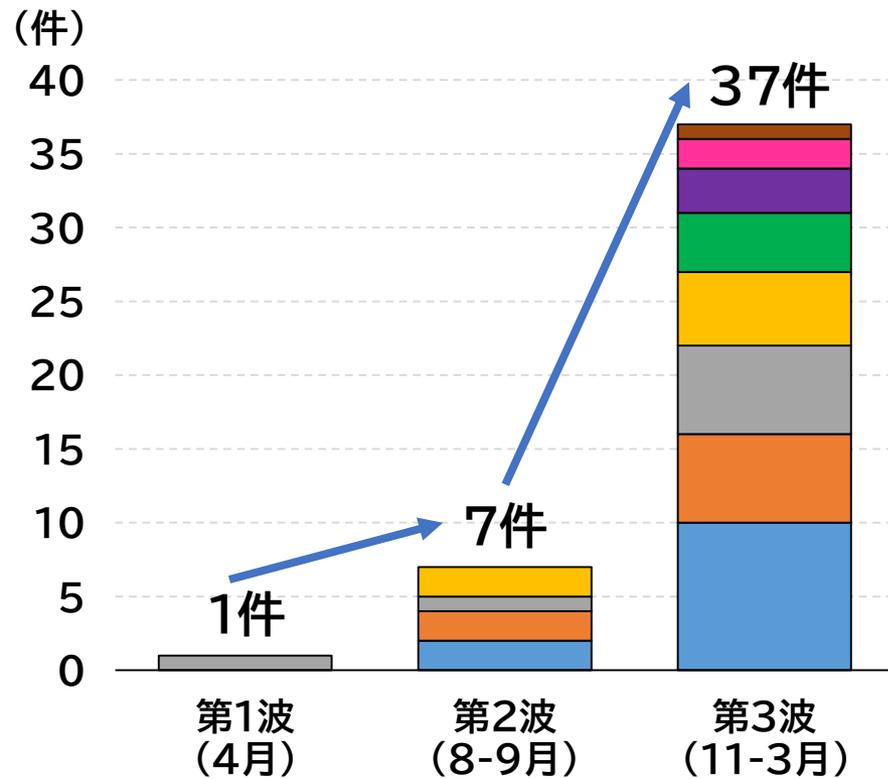
# 感染防止対策の概要（クラスター対策）

集計期間：10/29~3/5(n=1999)  
※週別内訳、直近19週

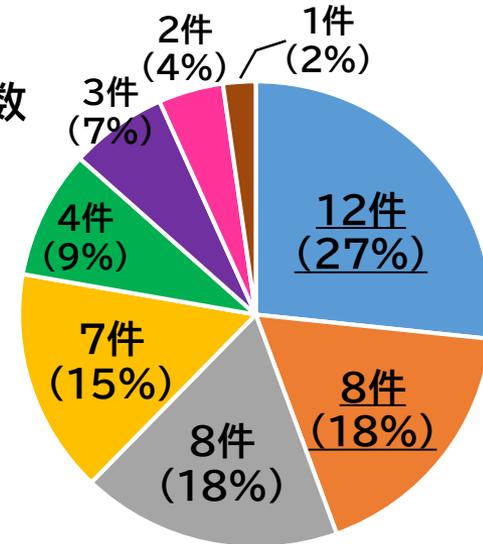


# クラスター発生状況1

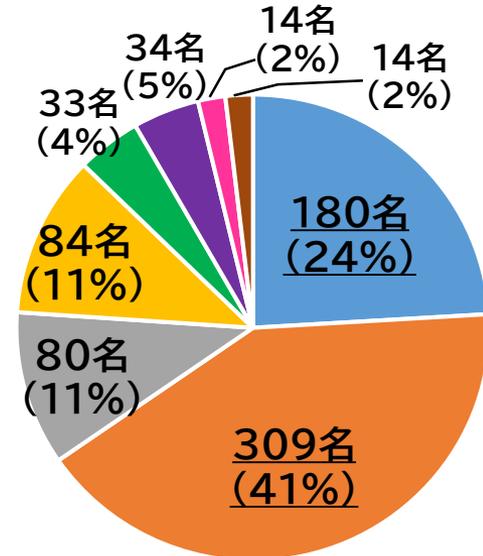
2021年3月21日時点



クラスター件数 (45件)



陽性者数 (748名)



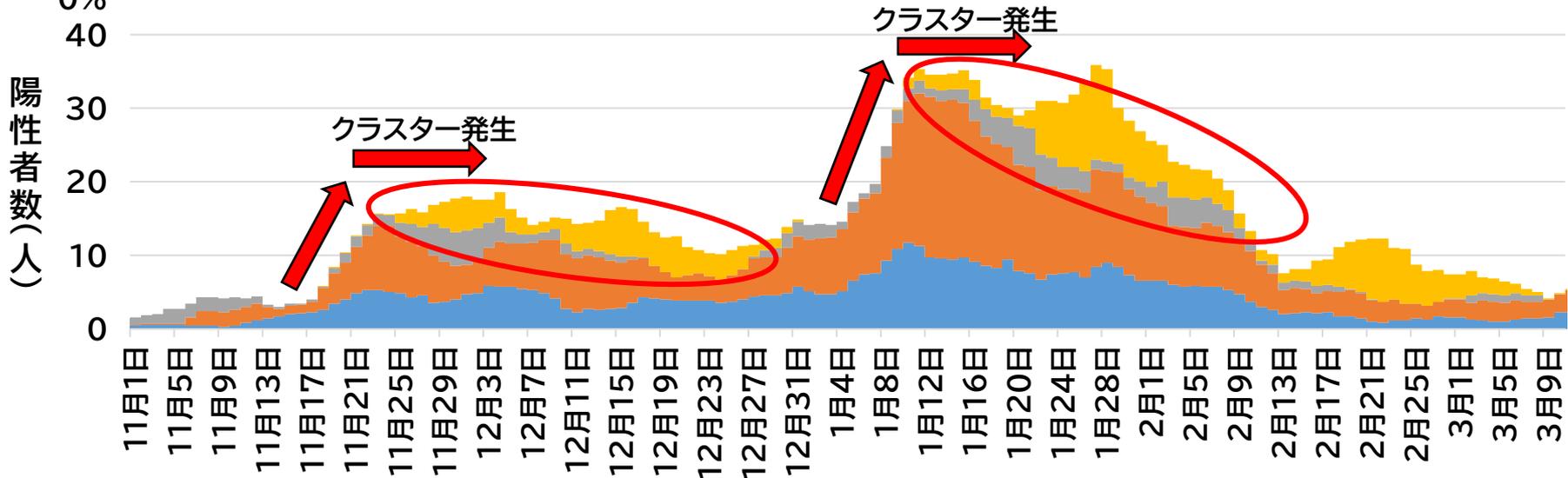
- ✓ 第3波では37件(82%)のクラスターが発生
- ✓ 第2波と比べ、件数と共にクラスターの種類も増加(4種⇒8種)
- ✓ 高齢者施設および医療機関で発生したクラスター(入所系)件数(20件)は全体の45%、陽性者数(489名)は65%を占め、クラスター1件当たりの陽性者数が多い傾向

# クラスター発生状況2

2021年3月10日時点

## クラスター発生動向(移動平均※) ※直近1週間当たりの平均陽性者数

■新規 ■濃厚+接触 ■入所系 ■コミュニティ



- 新規: 接触歴不明の陽性者
- 濃厚+接触: 濃厚接触者等の接触歴のある陽性者(クラスター以外)
- 入所系: 高齢者施設、医療機関で発生したクラスター
- コミュニティ: 入所系以外のクラスター(飲食、事業所、会食、カラオケ等)

✓ **陽性者数の増加後にクラスターが発生**している。

# 飲食・職場関連で発生したクラスター

## 発生要因

- 事務所が狭く換気が不十分、工作中的マスク無しでの会話等により感染拡大
- 食堂や休憩室の座席が近いため身体距離が確保できておらず、マスク無しでの会話等により感染拡大
- 店舗内が狭く換気が不十分、利用者間の距離が保てない配席、マスク無しでの歌唱や会話等により感染拡大

## 共通点

- 3密(密集・密接・密閉)や5つの場面(※)に該当する環境で発生
- マスク未着用、不十分な消毒・換気などの感染対策の不備が見られる

※感染リスクが高まる5つの場面

- ①飲食を伴う懇親会等,
- ②大人数や長時間に及ぶ飲食,
- ③マスクなしでの会話
- ④狭い空間での共同生活,
- ⑤居場所の切り替わり

## 対策

- 会話の際もマスク着用の徹底
- 手洗いや手指消毒の励行
- 窓や扉を開けて定期的に換気を実施
- 座席数を減らして身体距離(2メートル;最低1メートル)を確保
- 業種別ガイドラインの遵守

# 入所系クラスターについて

事例探知

【イメージ図】

感染対策開始  
(ゾーニング等)

対策開始後2週目以降の陽性者数をどこまで制御できるか？

対策前の影響

対策後の影響

陽性者数(人)

1W

2W

3W

4W以降

1日 2日 3日 4日 5日 6日 7日 8日 9日 10日 11日 12日 13日 14日 15日 16日 17日 18日 19日 20日 21日 22日 23日 24日 25日 26日 27日 28日 29日 30日 31日 32日 33日 34日 35日 36日 37日 38日 39日 40日 41日 42日

判 明 日

# 考察：感染が拡大する要因

- ◆ クラスタ発生発端は、職員又は利用者等からの持ち込み
- ◆ 施設内において3密(密集・密接・密閉)の環境が生じると感染リスクは高まる
- ◆ クラスタ発生施設では、感染拡大につながる環境等に共通点が見られる

## 発生・拡大要因

- 発症前の無症状の職員が勤務したことによる持ち込み
- 施設外で感染後に入所したことによる持ち込み
- 有症状の職員が無理をして勤務したことによる拡大
- 発熱等の症状を呈する入所者等に対し、感染対策が不十分な状態で接触 など

## 感染拡大を防ぐには

### 【持ち込まない】

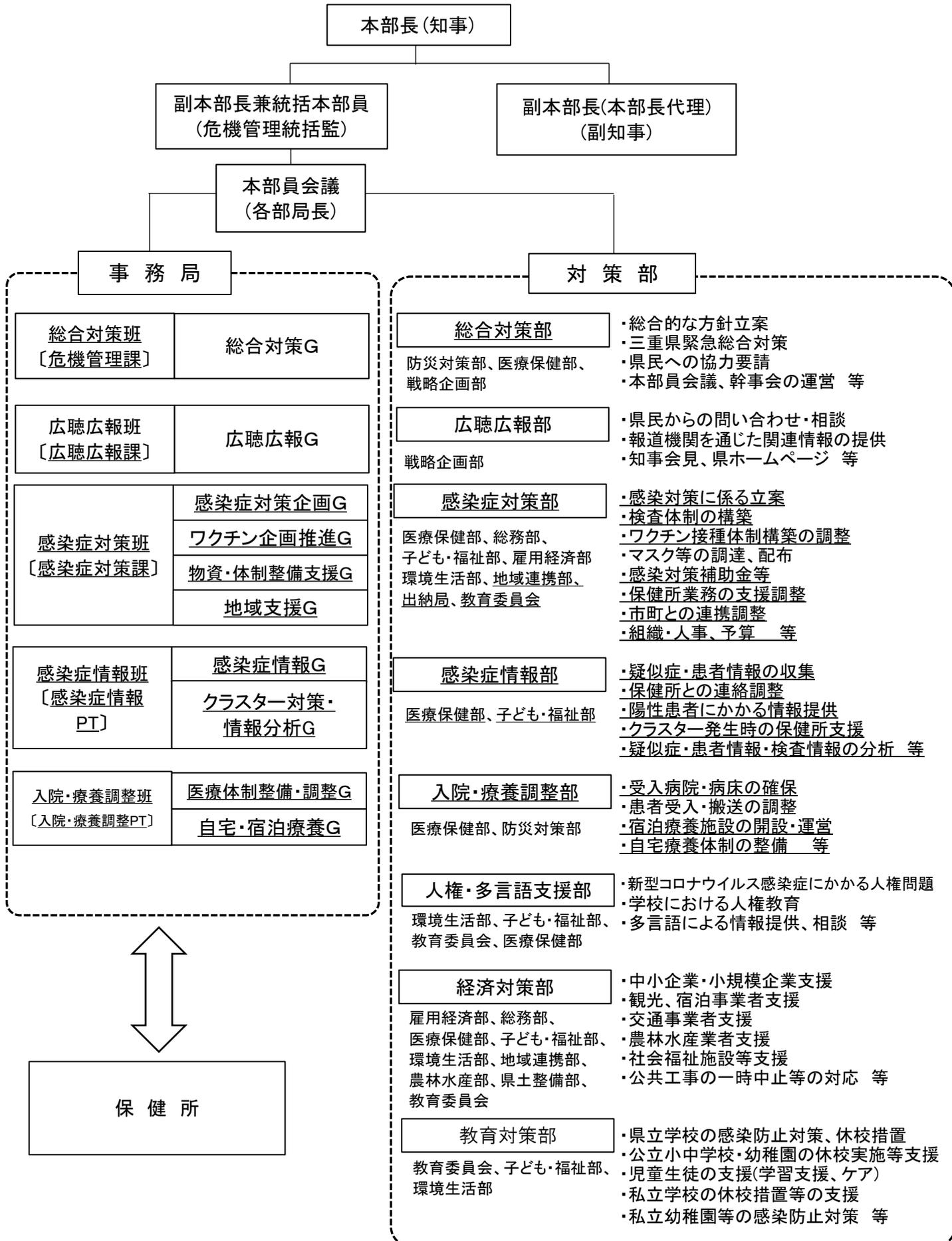
- 地域の感染状況の把握 ⇒ 感染状況に応じた対策実施
- 日常生活における感染機会の回避
- 職員の体調管理の徹底

### 【拡げない】

- 委託業者も含む感染対策への意識の向上
- 標準予防策の徹底(手指衛生の遵守+接触が伴うケアではガウンの着用等)
- 3密につながる環境の回避(休憩室、共有スペース等)
- 発熱サーベイランス(入所者)の実施

令和3年4月1日から

## 新型コロナウイルス感染症対策本部体制



## 知事指示事項

令和3年3月24日

- 1 令和3年度は新しい本部体制のもと対策を進めることとなる。年度が変わっても切れ目なく、4月1日から直ちに対応できるよう、人事異動に伴う引継を確実にいき、万全の体制を整えること。
- 2 年度末は環境の変化が大きい時期であることから、決して気が緩むことがないように、改めて「三重県指針」ver. 9の内容について一人ひとりがきちんと理解し、ストップリバウンドに向け、県民の手本となるよう自ら率先して積極的に取り組むとともに、家族・友人など周囲に対しても協力を促すこと。
- 3 県内においても、新型コロナウイルス感染症の変異株が複数確認されている。昨日（3月23日）から、変異株PCR検査数を増加させたことから、検査を的確に行い、陽性者が確認された時は、迅速かつ的確に感染拡大防止に努めるとともに、県民の不安を解消するよう速やかに情報提供を行うこと。
- 4 県民の皆様が安心してワクチンを接種できるよう、県内各地域の病院、医師会、関係団体、市町等と緊密に連携し、体制整備を進めるとともに、情報提供に努めること。
- 5 「飲食店・取引事業者等事業継続支援金」や「新型コロナ克服生産性向上・業態転換支援補助金」など、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている事業者を支援する制度について、事業者に確実に情報が届くよう、より一層周知を徹底すること。
- 6 現在実施中の「みえ得トラベルクーポン」事業について、感染症対策の徹底を呼びかけるとともに、今後も、大型連休等に備えて、引き続き、感染拡大防止対策を徹底するとともに、旅行先での密を回避し、旅行需要の平準化を図るなどの取組を促進すること。
- 7 各部局においては所管する団体に対し、ガイドラインの遵守や掲示物などを用いた感染防止対策の徹底について改めて周知するとともに、「安心みえるLINE」への登録、QRコードの掲示について、積極的な活用をお願いすること。
- 8 感染された方やその家族、医療従事者などが、不当な差別や偏見、いじめを受けることは決してあってはならない。引き続きあらゆる機会を活用し、呼びかけるとともに相談対応に取り組むこと。また、シトラスリボンプロジェクトの趣旨に多くの県民の皆様にご賛同いただき、取組の輪が広がるよう啓発に努めること。